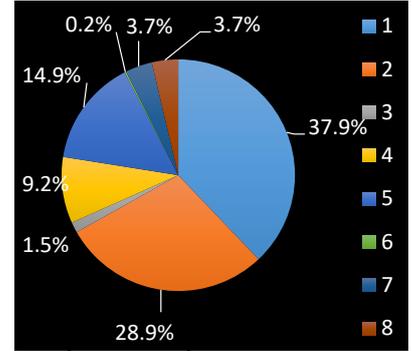
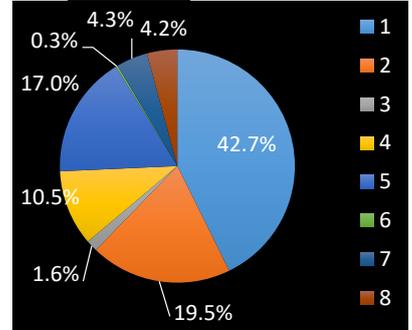


北海道

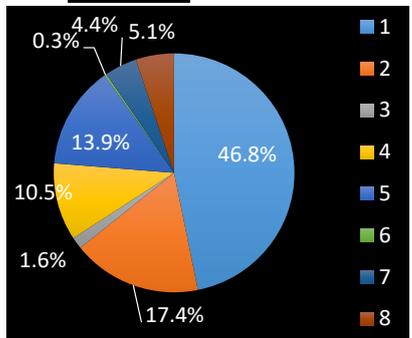
2023年度 70PJ 対前年度比 115.1%



2022年度 61PJ 対前年度比 101.2%



2021年度 60PJ



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	15	38	46	37.9%
◎ 2 風力発電	20PJ	1	5	17	28.9%
3 地熱発電	1PJ	5	8	8	1.5%
4 小水力発電	6PJ	6	27	40	9.2%
○ 5 バイオマス発電	10PJ	1	17	45	14.9%
6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.2%
7 地熱利用	3PJ	2	10	28	3.7%
8.バイオマス熱利用	3PJ	9	32	45	3.7%
合計(供給量)	70PJ	2			
再生可能エネルギー自給率			18.0%	再生エネ自給率ランク	36
食料自給率			200.7%	食料自給率ランク	1
供給密度(TJ/km ²)			0.889	供給密度ランク	47
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)				387PJ	
区域面積				78,358km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	虻田郡留寿都村	971.6%	1	虻田郡留寿都村	13.6	☆1	河西郡更別村	6401.5%
☆2	天塩郡豊富町	697.9%	2	江別市	9.9	☆2	斜里郡小清水町	5616.7%
☆3	天塩郡幌延町	522.9%	3	天塩郡幌延町	9.6	☆3	斜里郡清里町	4935.3%
☆4	苫前郡苫前町	423.2%	4	寿都郡寿都町	7.7	☆4	河東郡士幌町	4030.6%
☆5	寿都郡寿都町	323.1%	5	勇払郡安平町	7.5	☆5	網走郡大空町	3844.9%
☆6	勇払郡安平町	270.5%	6	檜山郡江差町	7.4	☆6	中川郡豊頃町	3476.7%
☆7	有珠郡壮瞥町	241.2%	7	室蘭市	6.4	☆7	河西郡中札内村	2926.5%
☆8	久遠郡せたな町	224.4%	8	苫小牧市	6.2	☆8	十勝郡浦幌町	2913.2%
☆9	松前郡松前町	216.2%	9	稚内市	6.1	☆9	石狩郡新篠津村	2777.7%
☆10	檜山郡上ノ国町	210.7%	10	釧路郡釧路町	5.3	☆10	雨竜郡北竜町	2714.5%

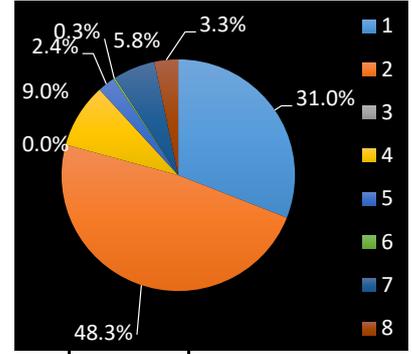
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2023年度 35PJ 対前年度比 105.2%



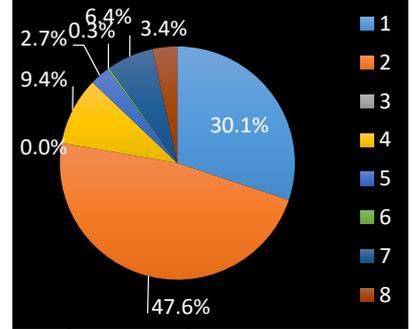
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

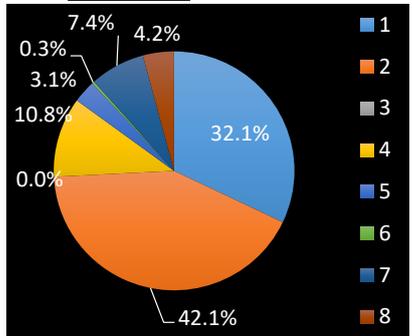
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	33	31	38	31.0%
◎ 2 風力発電	17PJ	2	2	1	48.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3PJ	20	19	26	9.0%
5 バイオマス発電	1PJ	40	44	46	2.4%
6 太陽熱利用	0PJ	46	46	44	0.3%
7 地熱利用	2PJ	3	2	2	5.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	23	21	28	3.3%
合計(供給量)	35PJ	22			
再生可能エネルギー自給率			38.7%	再生可能エネルギー自給率ランク	12
食料自給率			113.9%	食料自給率ランク	4
供給密度(TJ/km ²)			3.579	供給密度ランク	33
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			89PJ		
区域面積			9,646km ²		

2022年度 33PJ 対前年度比 115.0%



2021年度 29PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	上北郡横浜町	603.3%	1	つがる市	14.5	☆1	東津軽郡蓬田村	697.2%
☆2	上北郡六ヶ所村	448.4%	2	八戸市	6.2	☆2	つがる市	662.3%
☆3	下北郡東通村	372.5%	3	三沢市	5.7	☆3	北津軽郡中泊町	575.9%
☆4	西津軽郡深浦町	320.4%	4	西津軽郡深浦町	3.8	☆4	北津軽郡鶴田町	368.0%
☆5	三戸郡新郷村	292.8%	5	青森市	3.5	☆5	北津軽郡板柳町	337.3%
☆6	上北郡野辺地町	222.6%	6	五所川原市	3.1	☆6	東津軽郡平内町	317.9%
☆7	上北郡七戸町	222.1%	7	南津軽郡田舎館村	2.9	☆7	三戸郡新郷村	308.6%
☆8	つがる市	183.7%	8	平川市	2.3	☆8	南津軽郡田舎館村	302.1%
☆9	下北郡大間町	137.0%	9	南津軽郡藤崎町	2.2	☆9	西津軽郡鯉ヶ沢町	288.2%
☆10	北津軽郡中泊町	124.0%	10	十和田市	1.9	☆10	上北郡七戸町	270.1%

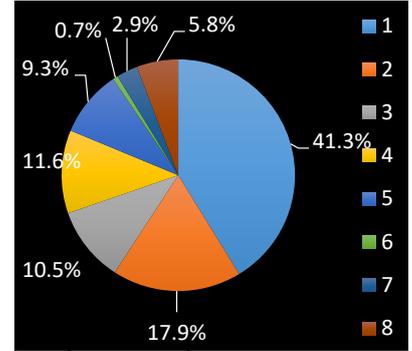
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

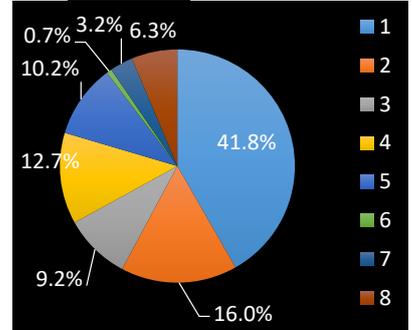
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

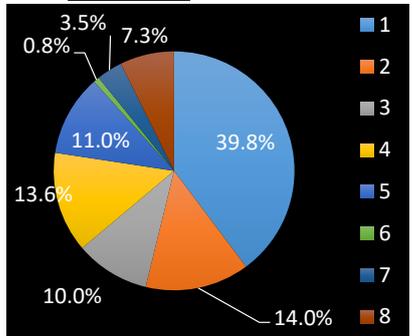
2023年度 33PJ 対前年度比 109.0%



2022年度 31PJ 対前年度比 109.3%



2021年度 28PJ



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	25	21	41	41.3%
○ 2 風力発電	6PJ	4	3	10	17.9%
○ 3 地熱発電	4PJ	3	3	4	10.5%
○ 4 小水力発電	4PJ	11	13	29	11.6%
5 バイオマス発電	3PJ	16	7	36	9.3%
6 太陽熱利用	0PJ	38	35	43	0.7%
7 地熱利用	1PJ	8	5	16	2.9%
8.バイオマス熱利用	2PJ	15	8	27	5.8%
合計(供給量)	33PJ	23			
再生可能エネルギー自給率			42.7%	再生可能エネルギー自給率ランク	11
食料自給率			98.4%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			2.192	供給密度ランク	41
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				78PJ	
区域面積				15,275km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	岩手郡葛巻町	549.0%	1	九戸郡野田村	10.6	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	310.7%
☆2	九戸郡野田村	393.8%	2	九戸郡軽米町	7.9	☆2	岩手郡雫石町	280.3%
☆3	九戸郡軽米町	364.9%	3	紫波郡矢巾町	6.2	☆3	和賀郡西和賀町	271.6%
☆4	気仙郡住田町	276.4%	4	二戸郡一戸町	5.1	☆4	八幡平市	233.7%
☆5	二戸郡一戸町	213.8%	5	岩手郡雫石町	4.6	☆5	下閉伊郡普代村	224.8%
☆6	岩手郡雫石町	205.2%	6	岩手郡葛巻町	4.4	☆6	岩手郡葛巻町	212.2%
☆7	八幡平市	178.0%	7	九戸郡洋野町	3.9	☆7	奥州市	184.8%
☆8	九戸郡洋野町	136.1%	8	胆沢郡金ヶ崎町	3.4	☆8	西磐井郡平泉町	183.8%
☆9	遠野市	130.9%	9	八幡平市	3.3	☆9	二戸郡一戸町	181.5%
☆10	下閉伊郡岩泉町	110.6%	10	二戸市	3.1	☆10	紫波郡紫波町	178.5%

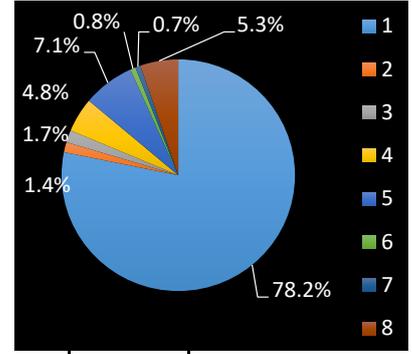
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

2023年度 40PJ 対前年度比 119.6%



再生可能エネルギー供給状況

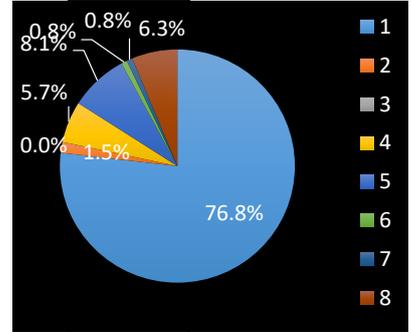
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

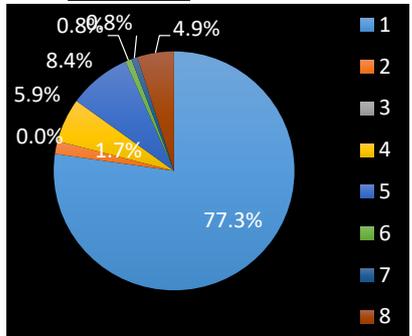
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	13	13	16	78.2%
○ 2 風力発電	1PJ	26	25	29	1.4%
○ 3 地熱発電	1PJ	7	6	5	1.7%
○ 4 小水力発電	2PJ	26	28	28	4.8%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	19	21	20	7.1%
○ 6 太陽熱利用	0PJ	36	37	37	0.8%
○ 7 地熱利用	0PJ	21	26	25	0.7%
○ 8 バイオマス熱利用	2PJ	13	10	13	5.3%
合計(供給量)	40PJ	16			
再生可能エネルギー自給率			32.1%	再生可能エネルギー自給率ランク 21	
食料自給率			69.5%	食料自給率ランク 11	
供給密度(TJ/km ²)			5.559	供給密度ランク 18	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				126PJ	
区域面積				7,282km ²	

2022年度 34PJ 対前年度比 103.5%



2021年度 33PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	597.6%	1	宮城郡松島町	16.8	☆1	加美郡色麻町	470.7%
☆2	黒川郡大郷町	336.0%	2	黒川郡大郷町	15.8	☆2	栗原市	325.5%
☆3	柴田郡川崎町	287.8%	3	塩竈市	15.6	☆3	登米市	318.0%
☆4	伊具郡丸森町	203.9%	4	亶理郡亶理町	14.5	☆4	遠田郡美里町	317.9%
☆5	宮城郡松島町	144.9%	5	岩沼市	12.8	☆5	加美郡加美町	294.6%
☆6	刈田郡蔵王町	132.7%	6	多賀城市	12.7	☆6	牡鹿郡女川町	286.0%
☆7	黒川郡大衡村	129.9%	7	東松島市	9.4	☆7	黒川郡大郷町	281.1%
☆8	黒川郡大和町	124.0%	8	石巻市	9.0	☆8	遠田郡涌谷町	276.2%
☆9	白石市	102.3%	9	亶理郡山元町	8.7	☆9	刈田郡七ヶ宿町	233.8%
☆10	大崎市	100.2%	10	黒川郡大和町	8.6	☆10	黒川郡大衡村	203.1%

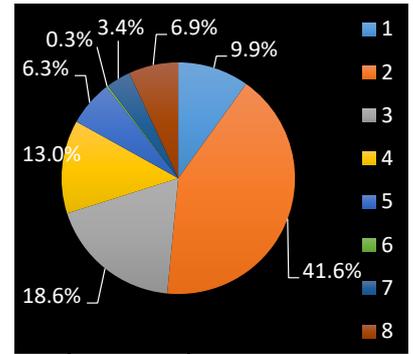
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

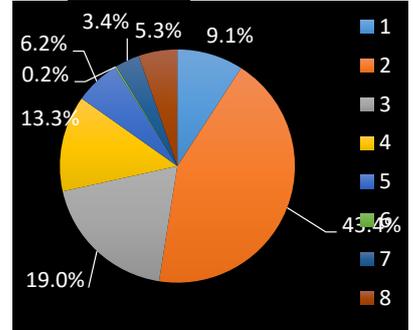
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

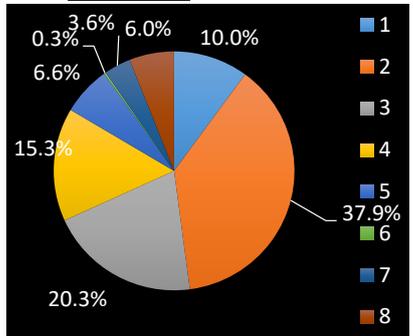
2023年度 37PJ 対前年度比 102.4%



2022年度 36PJ 対前年度比 106.7%



2021年度 34PJ



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	4PJ	46	42	47	9.9%
◎ 2 風力発電	15PJ	3	1	2	41.6%
○ 3 地熱発電	7PJ	2	2	2	18.6%
○ 4 小水力発電	5PJ	10	8	20	13.0%
5 バイオマス発電	2PJ	24	10	37	6.3%
6 太陽熱利用	0PJ	45	43	46	0.3%
7 地熱利用	1PJ	6	3	9	3.4%
8.バイオマス熱利用	3PJ	8	1	16	6.9%
合計(供給量)	37PJ	19			
再生可能エネルギー自給率			54.3%	再生可能エネルギー自給率ランク	1
食料自給率			185.4%	食料自給率ランク	2
供給密度(TJ/km ²)			3.192	供給密度ランク	37
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				68PJ	
区域面積				11,616km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	にかほ市	217.8%	1	潟上市	22.8	☆1	南秋田郡大潟村	6963.5%
☆2	鹿角市	200.3%	2	にかほ市	12.2	☆2	仙北郡美郷町	501.9%
☆3	湯沢市	164.8%	3	男鹿市	8.7	☆3	山本郡三種町	465.4%
☆4	潟上市	157.6%	4	能代市	8.1	☆4	南秋田郡井川町	390.1%
☆5	山本郡八峰町	150.3%	5	鹿角市	7.4	☆5	山本郡八峰町	372.4%
☆6	雄勝郡東成瀬村	142.5%	6	秋田市	6.1	☆6	雄勝郡羽後町	335.9%
☆7	山本郡三種町	141.7%	7	湯沢市	5.7	☆7	大仙市	335.7%
8	男鹿市	96.0%	8	山本郡三種町	4.9	☆8	横手市	296.2%
9	能代市	95.6%	9	由利本荘市	3.4	☆9	北秋田郡上小阿仁村	292.1%
10	由利本荘市	87.5%	10	山本郡八峰町	2.7	☆10	山本郡藤里町	264.6%

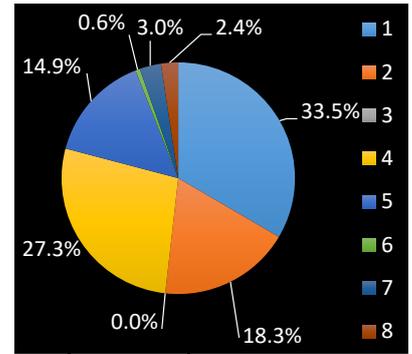
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

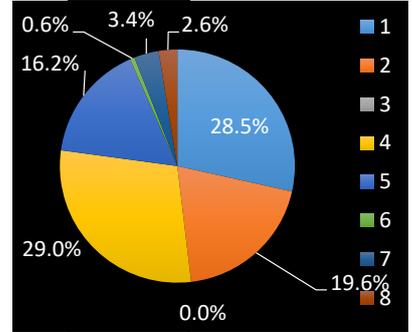
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

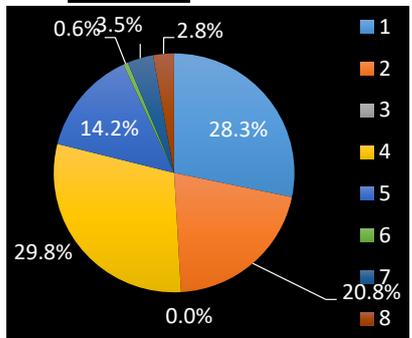
2023年度 13PJ 対前年度比 108.1%



2022年度 12PJ 対前年度比 102.7%



2021年度 12PJ



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	45	37	44	33.5%
○ 2 風力発電	2PJ	11	8	18	18.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	4PJ	13	12	23	27.3%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	31	14	35	14.9%
6 太陽熱利用	0PJ	47	44	45	0.6%
7 地熱利用	0PJ	18	11	24	3.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	42	37	44	2.4%
合計(供給量)	13PJ	42			
再生可能エネルギー自給率			21.0%	再生エネ自給率ランク	30
食料自給率			136.2%	食料自給率ランク	3
供給密度(TJ/km ²)			1.374	供給密度ランク	46
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)				61PJ	
区域面積				9,323km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	237.3%	1	東置賜郡川西町	5.0	☆1	最上郡鮭川村	596.3%
☆2	最上郡大蔵村	144.6%	2	飽海郡遊佐町	5.0	☆2	東置賜郡川西町	487.7%
☆3	飽海郡遊佐町	142.9%	3	酒田市	3.7	☆3	東田川郡三川町	484.8%
☆4	西村山郡朝日町	136.8%	4	東田川郡庄内町	2.7	☆4	東田川郡庄内町	461.3%
☆5	東置賜郡川西町	113.1%	5	山形市	2.5	☆5	西置賜郡飯豊町	429.1%
6	東田川郡庄内町	74.2%	6	新庄市	2.5	☆6	最上郡戸沢村	408.8%
7	酒田市	36.4%	7	天童市	2.0	☆7	最上郡金山町	401.0%
8	鶴岡市	31.1%	8	米沢市	1.8	☆8	尾花沢市	395.5%
9	最上郡最上町	29.5%	9	西村山郡朝日町	1.8	☆9	最上郡大蔵村	368.0%
10	東置賜郡高畠町	26.5%	10	鶴岡市	1.7	☆10	最上郡舟形町	352.9%

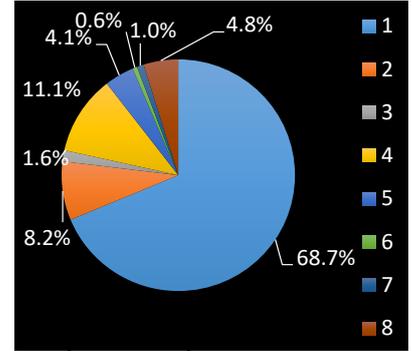
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2023年度 58PJ 対前年度比 115.7%

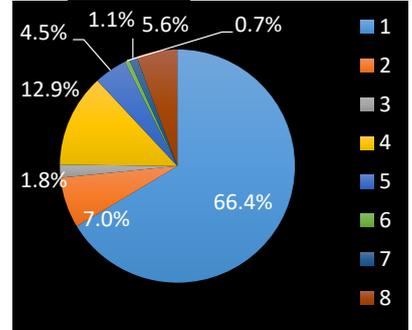


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

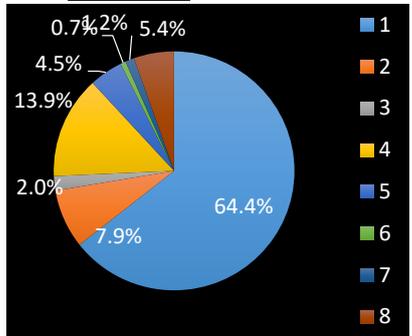
主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	40PJ	8	5	25	68.7%
2 風力発電	5PJ	5	7	12	8.2%
3 地熱発電	1PJ	6	5	6	1.6%
○ 4 小水力発電	6PJ	7	11	16	11.1%
5 バイオマス発電	2PJ	23	23	39	4.1%
6 太陽熱利用	0PJ	33	31	39	0.6%
7 地熱利用	1PJ	14	16	26	1.0%
8.バイオマス熱利用	3PJ	7	6	20	4.8%
合計(供給量)	58PJ	5			
再生可能エネルギー自給率			53.1%	再生エネ自給率ランク 3	
食料自給率			73.0%	食料自給率ランク 8	
供給密度(TJ/km ²)			4.186	供給密度ランク 24	
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)				109PJ	
区域面積				13,784km ²	

2022年度 50PJ 対前年度比 109.4%



2021年度 46PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	双葉郡川内村	778.5%	1	西白河郡矢吹町	23.6	☆1	河沼郡湯川村	658.3%
☆2	河沼郡柳津町	521.4%	2	双葉郡富岡町	18.7	☆2	河沼郡会津坂下町	375.9%
☆3	南会津郡下郷町	357.7%	3	西白河郡西郷村	14.2	☆3	耶麻郡猪苗代町	341.8%
☆4	耶麻郡磐梯町	298.1%	4	白河市	12.8	☆4	大沼郡会津美里町	331.3%
☆5	東白川郡鮫川村	283.1%	5	南相馬市	10.9	☆5	岩瀬郡天栄村	297.5%
☆6	西白河郡西郷村	227.1%	6	本宮市	10.7	☆6	大沼郡昭和村	263.1%
☆7	田村郡小野町	226.5%	7	岩瀬郡鏡石町	10.1	☆7	喜多方市	248.3%
☆8	双葉郡檜葉町	204.7%	8	相馬市	8.7	☆8	西白河郡泉崎村	237.8%
☆9	西白河郡矢吹町	161.7%	9	石川郡石川町	8.5	☆9	西白河郡中島村	232.4%
☆10	田村市	158.5%	10	耶麻郡磐梯町	8.2	☆10	耶麻郡磐梯町	230.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

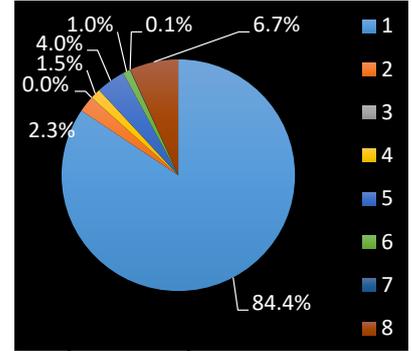
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2023年度 81PJ 対前年度比 116.4%



再生可能エネルギー供給状況

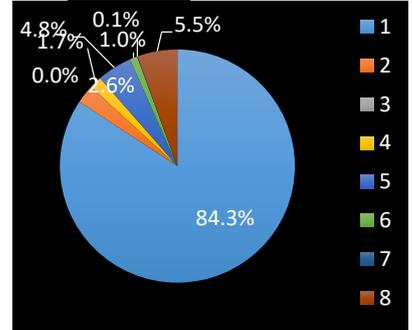
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

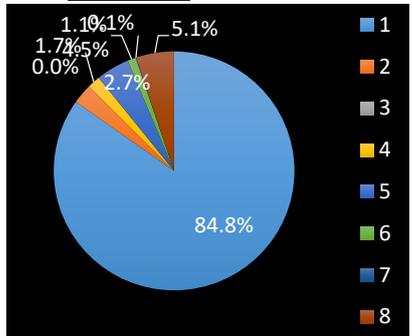
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	68PJ	1	4	1	84.4%
○ 2 風力発電	2PJ	15	22	14	2.3%
○ 3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	33	36	35	1.5%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	14	27	12	4.0%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	18	29	17	1.0%
○ 7 地熱利用	0PJ	38	38	39	0.1%
○ 8.バイオマス熱利用	5PJ	1	3	4	6.7%
合計(供給量)	81PJ	1			
再生可能エネルギー自給率			47.4%	再生可能エネルギー自給率ランク	9
食料自給率			66.2%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			13.246	供給密度ランク	2
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				171PJ	
区域面積				6,097km ²	

2022年度 69PJ 対前年度比 102.8%



2021年度 68PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	行方市	174.3%	1	神栖市	38.6	☆1	稲敷郡河内町	445.3%
☆2	久慈郡大子町	151.2%	2	ひたちなか市	26.3	☆2	鉾田市	397.9%
☆3	桜川市	141.9%	3	牛久市	24.3	☆3	行方市	364.4%
☆4	稲敷市	129.2%	4	筑西市	23.6	☆4	稲敷市	290.1%
☆5	北茨城市	121.3%	5	水戸市	20.9	☆5	結城郡八千代町	226.6%
☆6	常陸大宮市	112.6%	6	那珂市	19.3	☆6	北茨城市	177.2%
☆7	常陸太田市	104.0%	7	鹿嶋市	19.3	☆7	東茨城郡茨城町	164.7%
☆8	高萩市	103.7%	8	稲敷郡阿見町	17.8	☆8	猿島郡五霞町	142.0%
9	神栖市	99.8%	9	つくば市	17.8	☆9	神栖市	133.1%
10	東茨城郡城里町	94.8%	10	土浦市	17.7	☆10	筑西市	127.2%

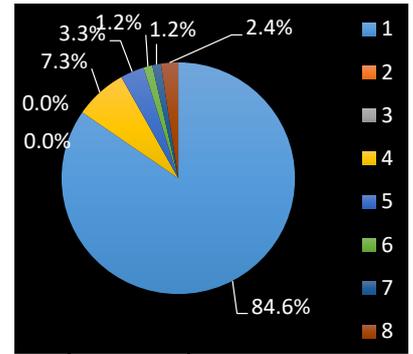
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

2023年度 53PJ 対前年度比 115.1%



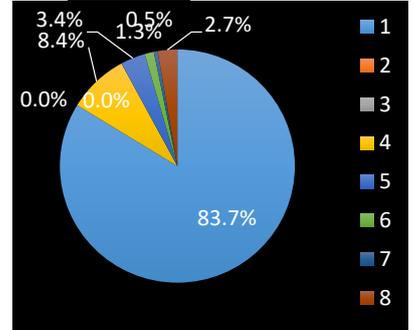
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

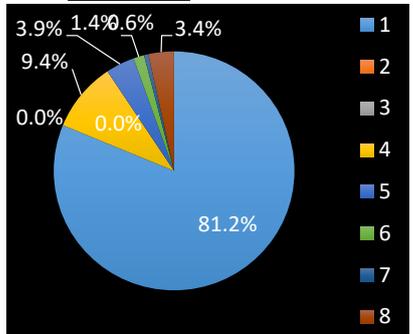
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	45PJ	4	2	7	84.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	4PJ	12	17	12	7.3%
5 バイオマス発電	2PJ	33	28	30	3.3%
6 太陽熱利用	1PJ	25	25	27	1.2%
7 地熱利用	1PJ	10	12	11	1.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	19	22	21	2.4%
合計(供給量)	53PJ	9			
再生可能エネルギー自給率			49.3%	再生可能エネルギー自給率ランク	8
食料自給率			66.4%	食料自給率ランク	12
供給密度(TJ/km ²)			8.220	供給密度ランク	10
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				107PJ	
区域面積				6,408km ²	

2022年度 46PJ 対前年度比 113.0%



2021年度 41PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	那須烏山市	265.5%	1	下都賀郡壬生町	17.7	☆1	塩谷郡塩谷町	304.2%
☆2	塩谷郡塩谷町	215.0%	2	那須烏山市	16.7	☆2	芳賀郡芳賀町	290.6%
☆3	那須郡那珂川町	173.9%	3	宇都宮市	14.3	☆3	那須郡那須町	239.6%
☆4	芳賀郡市貝町	147.3%	4	足利市	13.8	☆4	大田原市	196.8%
☆5	那須郡那須町	130.4%	5	佐野市	12.7	☆5	芳賀郡市貝町	173.4%
☆6	日光市	109.3%	6	芳賀郡市貝町	12.5	☆6	塩谷郡高根沢町	171.0%
☆7	那須塩原市	100.4%	7	下都賀郡野木町	11.2	☆7	さくら市	162.5%
8	矢板市	89.8%	8	那須塩原市	11.0	☆8	那須郡那珂川町	160.0%
9	大田原市	81.7%	9	栃木市	10.9	☆9	芳賀郡茂木町	139.0%
10	芳賀郡益子町	81.7%	10	下野市	10.7	☆10	那須塩原市	128.0%

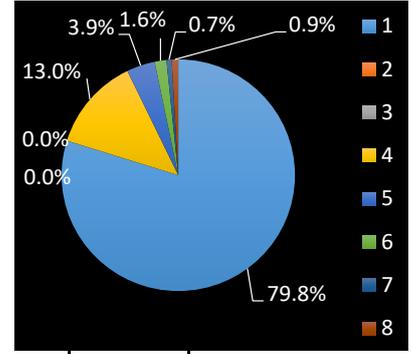
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

2023年度 53PJ 対前年度比 109.3%

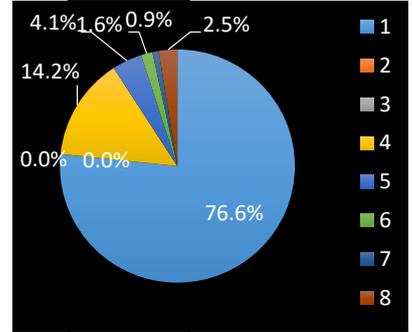


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

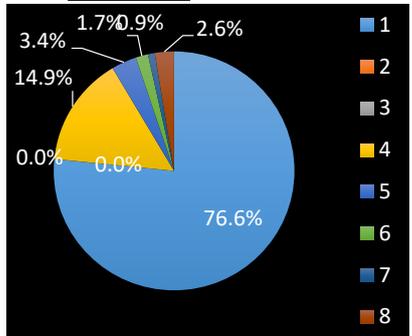
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	43PJ	6	1	9	79.8%
2 風力発電	0PJ	37	37	37	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	5	9	3	13.0%
5 バイオマス発電	2PJ	28	26	24	3.9%
6 太陽熱利用	1PJ	16	11	16	1.6%
7 地熱利用	0PJ	17	20	18	0.7%
8 バイオマス熱利用	0PJ	37	38	39	0.9%
合計(供給量)	53PJ	8			
再生可能エネルギー自給率			52.6%	再生可能エネルギー自給率ランク 4	
食料自給率			30.7%	食料自給率ランク 30	
供給密度(TJ/km ²)			8.383	供給密度ランク 9	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				101PJ	
区域面積				6,362km ²	

2022年度 49PJ 対前年度比 105.2%



2021年度 46PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	889.8%	1	太田市	27.6	☆1	利根郡昭和村	412.3%
☆2	吾妻郡嬭恋村	289.1%	2	邑楽郡大泉町	26.9	☆2	吾妻郡嬭恋村	278.2%
☆3	吾妻郡高山村	284.6%	3	伊勢崎市	26.8	☆3	邑楽郡板倉町	225.7%
☆4	多野郡神流町	278.3%	4	前橋市	24.3	☆4	吾妻郡長野原町	205.8%
☆5	吾妻郡東吾妻町	241.3%	5	邑楽郡千代田町	20.8	☆5	利根郡川場村	156.5%
☆6	利根郡昭和村	227.9%	6	邑楽郡邑楽町	20.6	☆6	吾妻郡東吾妻町	125.0%
☆7	吾妻郡中之条町	182.9%	7	安中市	15.1	☆7	吾妻郡高山村	112.5%
☆8	安中市	171.2%	8	館林市	14.3	☆8	邑楽郡千代田町	111.2%
☆9	吾妻郡長野原町	167.4%	9	佐波郡玉村町	14.1	9	利根郡片品村	92.2%
☆10	利根郡みなかみ町	152.1%	10	利根郡昭和村	13.9	10	邑楽郡明和町	81.6%

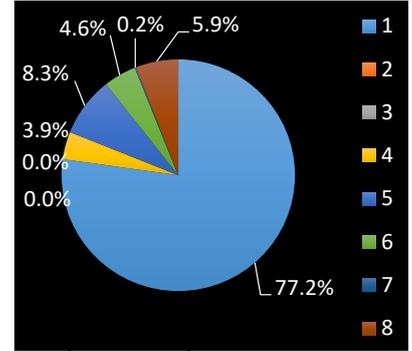
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

2023年度 41PJ 対前年度比 115.0%



再生可能エネルギー供給状況

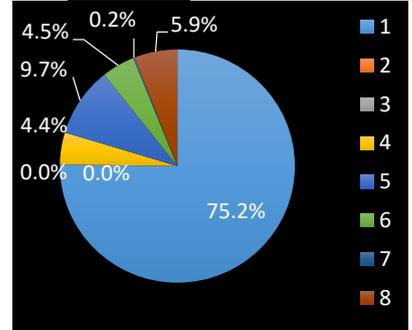
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

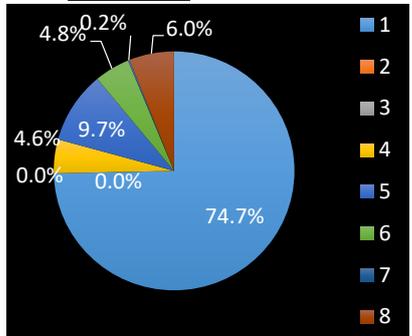
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	31PJ	14	36	5	77.2%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	28	40	21	3.9%
5 バイオマス発電	3PJ	13	41	7	8.3%
6 太陽熱利用	2PJ	3	27	4	4.6%
7 地熱利用	0PJ	34	41	34	0.2%
8.バイオマス熱利用	2PJ	11	28	8	5.9%
合計(供給量)	41PJ	15			
再生可能エネルギー自給率			12.0%	再エネ自給率ランク 42	
食料自給率			9.1%	食料自給率ランク 44	
供給密度(TJ/km ²)			10.734	供給密度ランク 6	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				340PJ	
区域面積				3,798km ²	

2022年度 35PJ 対前年度比 103.3%



2021年度 34PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	秩父郡長瀬町	126.2%	1	ふじみ野市	27.6	☆1	比企郡川島町	101.6%
2	児玉郡美里町	97.9%	2	三郷市	22.7	2	児玉郡美里町	91.7%
3	秩父市	87.1%	3	川口市	21.6	3	比企郡吉見町	81.3%
4	比企郡吉見町	85.2%	4	戸田市	20.8	4	加須市	73.0%
5	児玉郡神川町	75.8%	5	さいたま市	20.3	5	羽生市	51.5%
6	比企郡鳩山町	60.8%	6	比企郡吉見町	18.6	6	児玉郡上里町	48.5%
7	比企郡滑川町	45.4%	7	羽生市	18.6	7	行田市	46.0%
8	比企郡川島町	43.8%	8	熊谷市	18.4	8	児玉郡神川町	42.1%
9	羽生市	38.6%	9	所沢市	18.3	9	幸手市	36.6%
10	大里郡寄居町	37.5%	10	蕨市	18.1	10	深谷市	36.5%

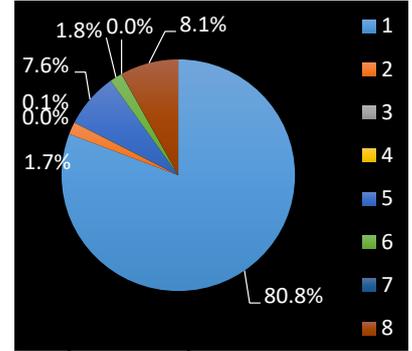
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

2023年度 61PJ 対前年度比 115.1%

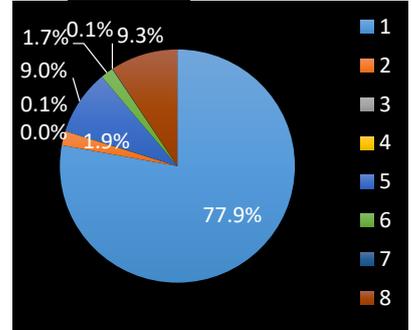


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

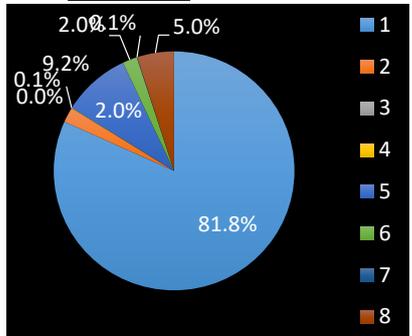
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	50PJ	2	28	2	80.8%
○ 2 風力発電	1PJ	20	28	21	1.7%
○ 3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	0PJ	46	45	46	0.1%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	9	32	5	7.6%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	10	34	8	1.8%
○ 7 地熱利用	0PJ	43	45	43	0.0%
○ 8. バイオマス熱利用	5PJ	3	15	3	8.1%
合計(供給量)	61PJ	4			
再生可能エネルギー自給率			18.6%	再生可能エネルギー自給率ランク	35
食料自給率			22.6%	食料自給率ランク	35
供給密度(TJ/km ²)			11.917	供給密度ランク	4
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				330PJ	
区域面積				5,157km ²	

2022年度 53PJ 対前年度比 104.9%



2021年度 51PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	香取郡神崎町	175.6%	1	流山市	25.6	☆1	香取郡多古町	269.9%
☆2	勝浦市	137.6%	2	市原市	24.8	☆2	香取市	228.5%
☆3	長生郡長南町	131.5%	3	八街市	23.4	☆3	山武郡芝山町	210.3%
4	長生郡長柄町	87.8%	4	香取郡神崎町	23.1	☆4	匝瑳市	204.3%
5	富津市	85.8%	5	野田市	21.8	☆5	香取郡東庄町	193.2%
6	夷隅郡御宿町	80.3%	6	袖ヶ浦市	21.1	☆6	山武郡横芝光町	186.8%
7	長生郡睦沢町	79.1%	7	印旛郡酒々井町	21.0	☆7	長生郡長南町	178.5%
8	夷隅郡大多喜町	78.9%	8	船橋市	20.8	☆8	旭市	170.1%
9	山武郡芝山町	76.8%	9	市川市	19.2	☆9	香取郡神崎町	159.5%
10	山武市	68.7%	10	浦安市	19.0	☆10	長生郡白子町	138.1%

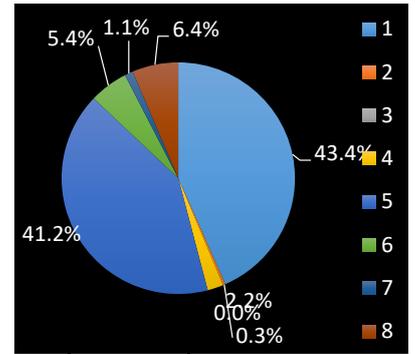
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

2023年度 **23PJ** 対前年度比 102.5%



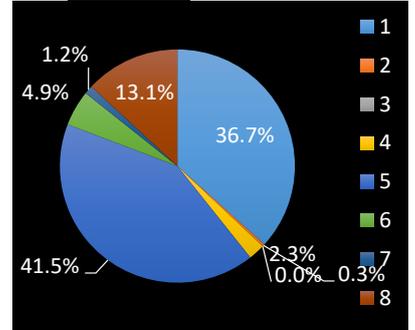
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

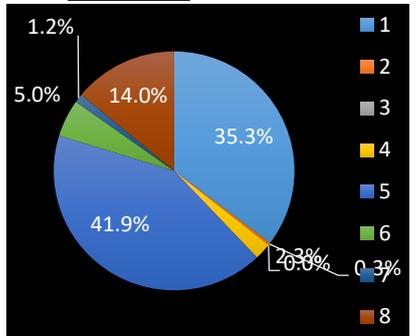
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	10PJ	34	47	15	43.4%
2 風力発電	0PJ	34	36	31	0.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.2%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	3	39	1	41.2%
6 太陽熱利用	1PJ	9	45	3	5.4%
7 地熱利用	0PJ	24	40	8	1.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	18	45	7	6.4%
合計(供給量)	23PJ	28			
再生可能エネルギー自給率			2.4%	再生エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.4%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			10.602	供給密度ランク 7	
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)			944PJ		
区域面積			2,181km ²		

2022年度 **23PJ** 対前年度比 99.7%



2021年度 **23PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西多摩郡奥多摩町	102.9%	1	稲城市	65.8	☆1	青ヶ島村	917.7%
2	稲城市	26.8%	2	中央区	57.1	2	八丈町	33.9%
3	神津島村	22.7%	3	東久留米市	39.2	3	神津島村	17.7%
4	新島村	15.8%	4	江東区	33.0	4	あきる野市	16.0%
5	八丈町	12.8%	5	目黒区	32.9	5	利島村	13.8%
6	東久留米市	11.4%	6	港区	32.8	6	御蔵島村	10.1%
7	御蔵島村	11.0%	7	杉並区	30.9	7	小笠原村	8.9%
8	羽村市	10.8%	8	豊島区	30.5	8	新島村	7.2%
9	三宅村	9.6%	9	墨田区	30.0	9	三宅村	7.2%
10	大島町	9.0%	10	練馬区	30.0	10	西多摩郡瑞穂町	7.1%

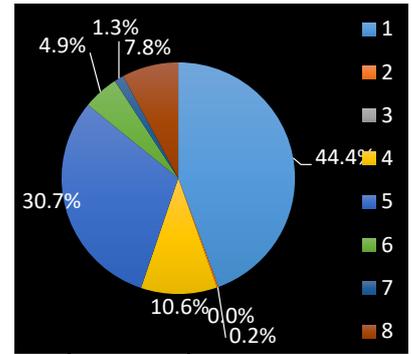
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

2023年度 32PJ 対前年度比 108.5%



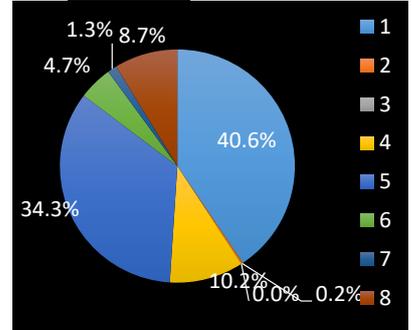
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

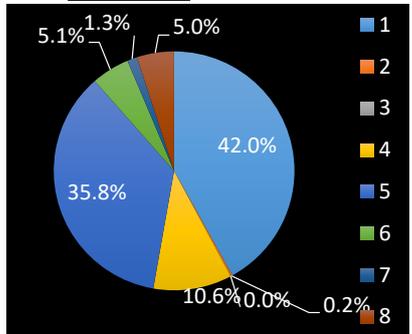
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	24	46	11	44.4%
2 風力発電	0PJ	35	35	33	0.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	15	34	2	10.6%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	2	24	2	30.7%
6 太陽熱利用	2PJ	4	32	2	4.9%
7 地熱利用	0PJ	15	29	4	1.3%
8.バイオマス熱利用	2PJ	10	35	2	7.8%
合計(供給量)	32PJ	25			
再生可能エネルギー自給率			6.9%	再生可能エネルギー自給率ランク	44
食料自給率			1.8%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			13.204	供給密度ランク	3
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				464PJ	
区域面積				2,416km ²	

2022年度 29PJ 対前年度比 104.5%



2021年度 28PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	342.4%	1	川崎市	51.4	1	三浦市	66.9%
2	足柄下郡箱根町	49.4%	2	茅ヶ崎市	28.6	2	愛甲郡清川村	51.9%
3	足柄上郡中井町	38.6%	3	大和市	25.0	3	足柄上郡中井町	18.0%
4	足柄上郡大井町	33.3%	4	座間市	22.3	4	足柄上郡開成町	11.5%
5	南足柄市	28.1%	5	足柄上郡大井町	19.7	5	足柄下郡真鶴町	11.2%
6	足柄下郡湯河原町	11.8%	6	海老名市	16.8	6	足柄上郡大井町	10.6%
7	愛甲郡愛川町	10.7%	7	横須賀市	16.5	7	伊勢原市	9.5%
8	茅ヶ崎市	10.4%	8	平塚市	16.3	8	南足柄市	8.4%
9	川崎市	9.8%	9	横浜市	16.2	9	愛甲郡愛川町	6.8%
10	逗子市	9.2%	10	藤沢市	15.0	10	小田原市	6.5%

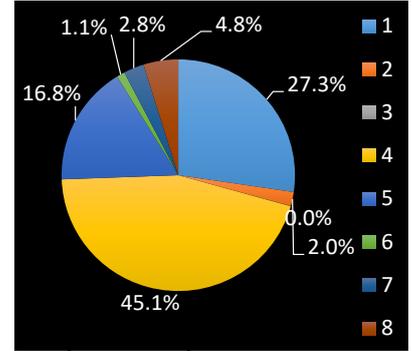
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

2023年度 21PJ 対前年度比 104.4%



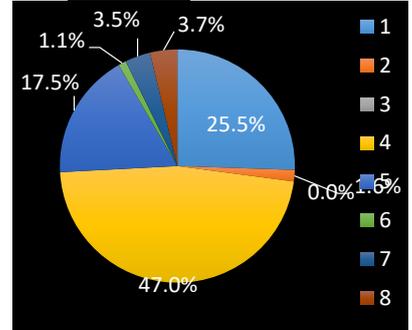
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

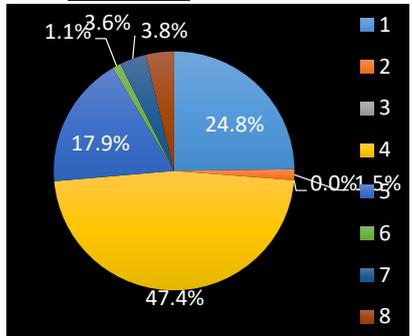
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	40	44	45	27.3%
2 風力発電	0PJ	29	27	32	2.0%
3 地熱発電	0PJ	10	10	11	0.0%
◎ 4 小水力発電	9PJ	3	5	8	45.1%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	12	15	28	16.8%
6 太陽熱利用	0PJ	39	39	42	1.1%
7 地熱利用	1PJ	11	18	23	2.8%
8 バイオマス熱利用	1PJ	24	27	37	4.8%
合計(供給量)	21PJ	31			
再生可能エネルギー自給率			16.5%	再生可能エネルギー自給率ランク 37	
食料自給率			103.1%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.633	供給密度ランク 45	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				125PJ	
区域面積				12,584km ²	

2022年度 20PJ 対前年度比 101.6%



2021年度 19PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	222.8%	1	阿賀野市	6.8	☆1	中魚沼郡津南町	358.2%
☆2	中魚沼郡津南町	126.3%	2	糸魚川市	6.0	☆2	岩船郡関川村	357.1%
3	妙高市	91.5%	3	新潟市	5.1	☆3	阿賀野市	252.4%
4	東蒲原郡阿賀町	87.4%	4	胎内市	4.3	☆4	佐渡市	212.8%
5	胎内市	78.0%	5	中魚沼郡津南町	3.5	☆5	西蒲原郡弥彦村	211.1%
6	阿賀野市	72.5%	6	妙高市	3.3	☆6	胎内市	203.4%
7	南魚沼郡湯沢町	66.2%	7	北蒲原郡聖籠町	3.0	☆7	村上市	192.4%
8	魚沼市	62.2%	8	五泉市	2.1	☆8	刈羽郡刈羽村	178.4%
9	五泉市	31.8%	9	南魚沼市	1.6	☆9	南魚沼市	171.5%
10	三島郡出雲崎町	30.2%	10	三条市	1.5	☆10	新発田市	167.6%

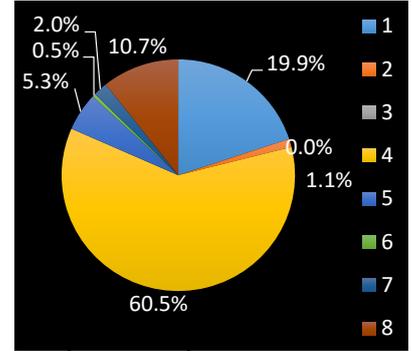
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2023年度 **22PJ** 対前年度比 103.0%



再生可能エネルギー供給状況

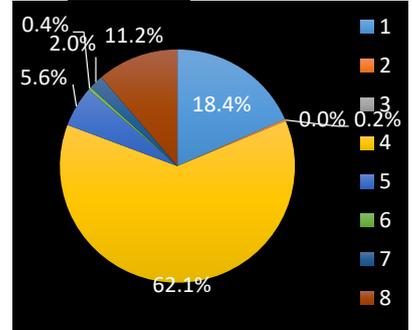
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

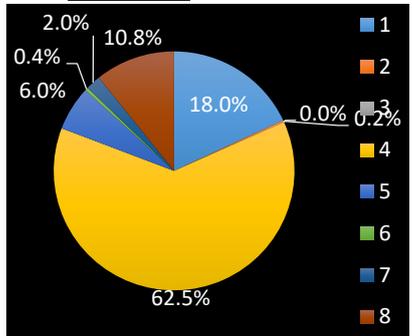
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	4PJ	44	41	39	19.9%
2 風力発電	0PJ	31	26	30	1.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	13PJ	2	1	1	60.5%
5 バイオマス発電	1PJ	36	31	31	5.3%
6 太陽熱利用	0PJ	44	42	41	0.5%
7 地熱利用	0PJ	16	13	10	2.0%
○ 8 バイオマス熱利用	2PJ	12	4	9	10.7%
合計(供給量)	22PJ	29			
再生可能エネルギー自給率			29.8%	再生可能エネルギー供給密度ランク	25
食料自給率			71.4%	食料自給率ランク	10
供給密度(TJ/km ²)			5.074	供給密度ランク	21
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			72PJ		
区域面積			4,248km ²		

2022年度 **21PJ** 対前年度比 101.1%



2021年度 **21PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	134.2%	1	滑川市	15.4	☆1	下新川郡入善町	288.8%
2	中新川郡立山町	93.4%	2	魚津市	10.0	☆2	南砺市	198.9%
3	魚津市	76.2%	3	下新川郡入善町	9.3	☆3	下新川郡朝日町	189.9%
4	中新川郡上市町	68.0%	4	富山市	7.9	☆4	小矢部市	156.7%
5	黒部市	64.5%	5	高岡市	7.9	☆5	中新川郡立山町	156.6%
6	滑川市	47.9%	6	射水市	7.8	☆6	砺波市	131.2%
7	下新川郡入善町	46.3%	7	下新川郡朝日町	4.4	7	黒部市	91.9%
8	富山市	30.5%	8	中新川郡立山町	3.9	8	中新川郡上市町	89.0%
9	小矢部市	18.9%	9	黒部市	3.7	9	中新川郡舟橋村	86.6%
10	射水市	14.9%	10	中新川郡舟橋村	3.4	10	氷見市	82.3%

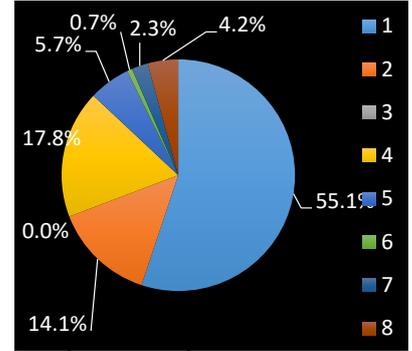
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

2023年度 15PJ 対前年度比 102.8%



再生可能エネルギー供給状況

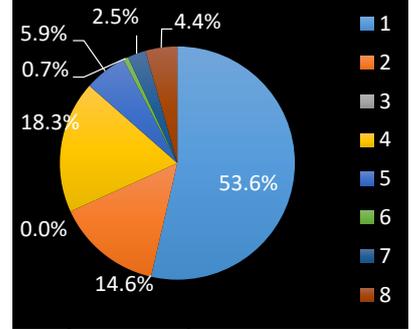
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

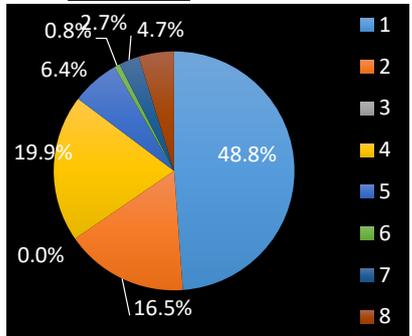
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	37	34	34	55.1%
○ 2 風力発電	2PJ	13	13	5	14.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	22	16	10	17.8%
5 バイオマス発電	1PJ	39	38	34	5.7%
6 太陽熱利用	0PJ	43	41	40	0.7%
7 地熱利用	0PJ	19	19	13	2.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	33	25	25	4.2%
合計(供給量)	15PJ	36			
再生可能エネルギー自給率			20.2%	再生可能エネルギー自給率ランク	32
食料自給率			44.3%	食料自給率ランク	21
供給密度(TJ/km ²)			3.581	供給密度ランク	32
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				74PJ	
区域面積				4,186km ²	

2022年度 15PJ 対前年度比 109.0%



2021年度 13PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	220.5%	1	羽咋郡宝達志水町	13.0	☆1	羽咋郡志賀町	209.2%
☆2	鳳珠郡穴水町	133.5%	2	野々市市	9.1	☆2	能美郡川北町	190.7%
☆3	珠洲市	115.6%	3	七尾市	6.3	☆3	羽咋市	153.0%
☆4	羽咋郡志賀町	102.7%	4	かほく市	6.1	☆4	羽咋郡宝達志水町	149.5%
5	七尾市	53.4%	5	羽咋郡志賀町	5.7	☆5	鳳珠郡能登町	132.1%
6	白山市	38.7%	6	河北郡内灘町	5.6	☆6	珠洲市	131.3%
7	鹿島郡中能登町	35.8%	7	能美郡川北町	5.6	☆7	鹿島郡中能登町	117.6%
8	羽咋市	30.5%	8	羽咋市	4.4	8	輪島市	97.0%
9	能美郡川北町	28.4%	9	鳳珠郡穴水町	4.4	9	鳳珠郡穴水町	83.4%
10	輪島市	26.3%	10	金沢市	4.1	10	七尾市	81.3%

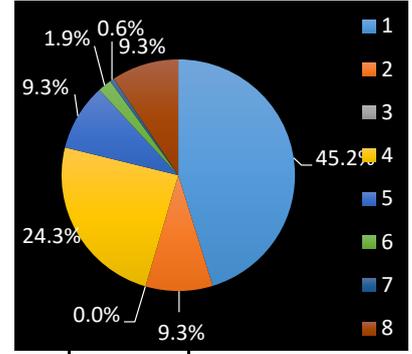
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2023年度 7PJ 対前年度比 104.8%



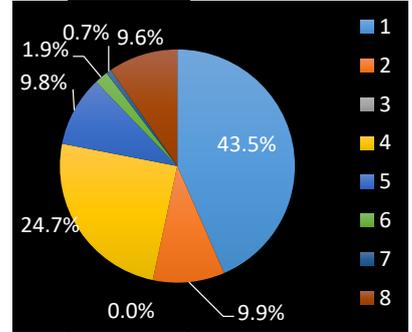
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

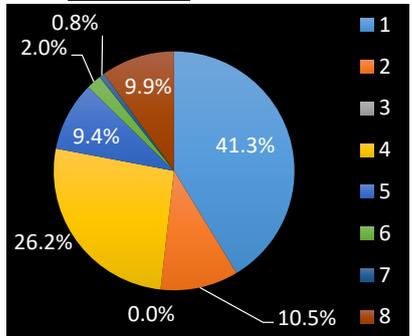
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	47	40	42	45.2%
2 風力発電	1PJ	24	20	22	9.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	27	20	19	24.3%
5 バイオマス発電	1PJ	43	35	41	9.3%
6 太陽熱利用	0PJ	41	36	38	1.9%
7 地熱利用	0PJ	39	30	38	0.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	31	19	23	9.3%
合計(供給量)	7PJ	46			
再生可能エネルギー自給率			14.1%	再生可能エネルギー自給率ランク	41
食料自給率			60.5%	食料自給率ランク	14
供給密度(TJ/km ²)			1.767	供給密度ランク	44
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				52PJ	
区域面積				4,191km ²	

2022年度 7PJ 対前年度比 106.0%



2021年度 7PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	75.4%	1	あわら市	8.9	☆1	今立郡池田町	179.5%
2	あわら市	56.8%	2	坂井市	6.0	☆2	大野市	165.1%
3	今立郡池田町	37.9%	3	福井市	3.2	☆3	三方上中郡若狭町	143.6%
4	勝山市	30.3%	4	鯖江市	2.6	☆4	あわら市	133.1%
5	坂井市	25.3%	5	大野市	1.7	☆5	南条郡南越前町	118.0%
6	三方郡美浜町	17.3%	6	敦賀市	1.5	6	大飯郡おおい町	95.1%
7	南条郡南越前町	9.0%	7	勝山市	1.5	7	坂井市	93.9%
8	福井市	8.3%	8	越前市	1.4	8	三方郡美浜町	92.8%
9	敦賀市	8.0%	9	三方郡美浜町	0.8	9	勝山市	90.7%
10	丹生郡越前町	7.4%	10	吉田郡永平寺町	0.7	10	丹生郡越前町	77.3%

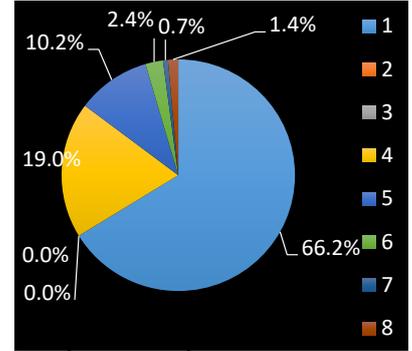
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2023年度 18PJ 対前年度比 107.2%



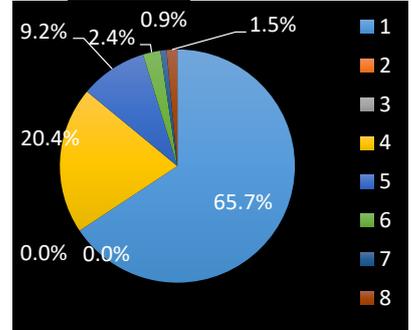
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

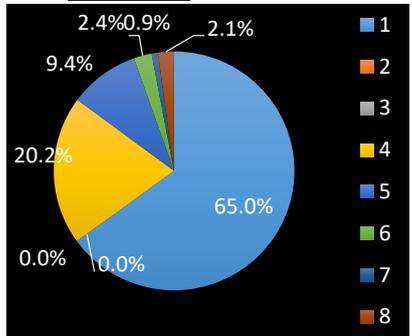
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	32	12	29	66.2%
2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	16	6	7	19.0%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	32	8	19	10.2%
6 太陽熱利用	0PJ	31	10	29	2.4%
7 地熱利用	0PJ	31	24	29	0.7%
8.バイオマス熱利用	0PJ	43	34	40	1.4%
合計(供給量)	18PJ	33			
再生可能エネルギー自給率			38.6%	再生可能エネルギー自給率ランク	13
食料自給率			18.4%	食料自給率ランク	38
供給密度(TJ/km ²)			3.947	供給密度ランク	27
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				4,461km ²	

2022年度 16PJ 対前年度比 100.6%



2021年度 16PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	1128.3%	1	甲斐市	25.9	☆1	北杜市	104.3%
☆2	北杜市	133.6%	2	中巨摩郡昭和町	21.6	2	韮崎市	53.8%
☆3	大月市	117.6%	3	中央市	10.9	3	甲州市	28.0%
4	韮崎市	72.3%	4	南都留郡忍野村	9.8	4	南巨摩郡南部町	24.2%
5	甲州市	65.1%	5	甲府市	7.7	5	中央市	22.5%
6	南都留郡忍野村	61.4%	6	韮崎市	7.1	6	南巨摩郡身延町	21.7%
7	南都留郡鳴沢村	60.4%	7	笛吹市	5.9	7	南都留郡富士河口湖町	20.1%
8	山梨市	54.9%	8	北杜市	5.7	8	山梨市	19.6%
9	甲斐市	54.4%	9	南アルプス市	5.0	9	笛吹市	19.2%
10	南アルプス市	47.3%	10	大月市	4.3	10	南アルプス市	18.5%

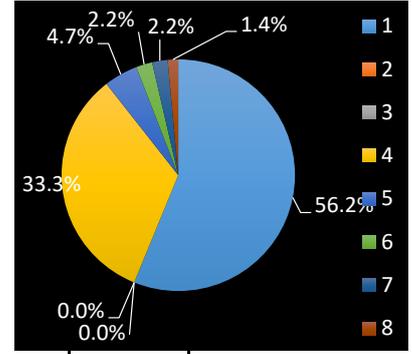
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

2023年度 **44PJ** 対前年度比 108.1%



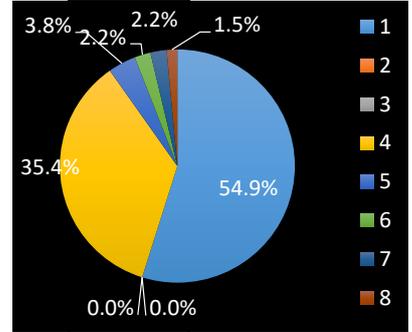
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

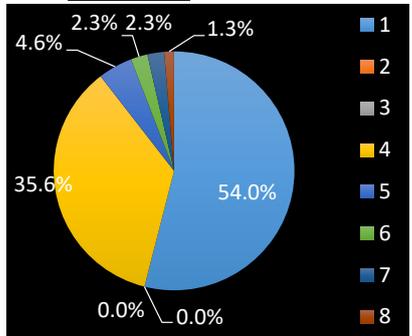
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	24PJ	18	19	35	56.2%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	15PJ	1	2	4	33.3%
5 バイオマス発電	2PJ	29	29	42	4.7%
6 太陽熱利用	1PJ	12	19	34	2.2%
7 地熱利用	1PJ	9	8	15	2.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	34	36	42	1.4%
合計(供給量)	44PJ	12			
再生可能エネルギー自給率			34.5%	再生可能エネルギー自給率ランク	18
食料自給率			48.2%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			3.214	供給密度ランク	36
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				126PJ	
区域面積				13,562km ²	

2022年度 **40PJ** 対前年度比 100.8%



2021年度 **40PJ**



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡平谷村	1307.7%	1	小諸市	11.2	☆1	南佐久郡川上村	702.1%
☆2	下伊那郡大鹿村	1181.3%	2	諏訪市	10.5	☆2	南佐久郡南牧村	630.9%
☆3	下水内郡栄村	604.0%	3	南佐久郡小海町	8.9	☆3	下水内郡栄村	259.5%
☆4	南佐久郡川上村	390.8%	4	北佐久郡御代田町	7.9	☆4	下高井郡木島平村	235.7%
☆5	南佐久郡小海町	341.7%	5	上伊那郡南箕輪村	6.9	☆5	北佐久郡立科町	215.1%
☆6	下伊那郡阿智村	291.2%	6	東御市	6.7	☆6	北安曇郡松川村	180.2%
☆7	北安曇郡小谷村	232.8%	7	上伊那郡飯島町	6.3	☆7	上水内郡信濃町	173.9%
☆8	下伊那郡阿南町	220.5%	8	上高井郡小布施町	6.0	☆8	飯山市	162.1%
☆9	下伊那郡泰阜村	214.9%	9	駒ヶ根市	5.8	☆9	諏訪郡原村	156.7%
☆10	小県郡長和町	199.0%	10	安曇野市	5.7	☆10	南佐久郡北相木村	154.2%

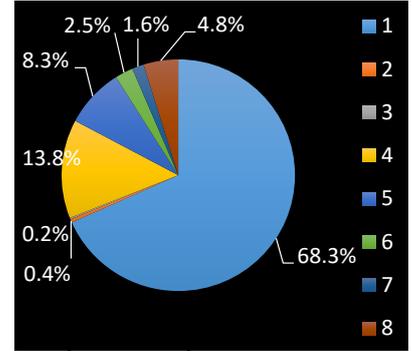
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

2023年度 35PJ 対前年度比 108.8%



再生可能エネルギー供給状況

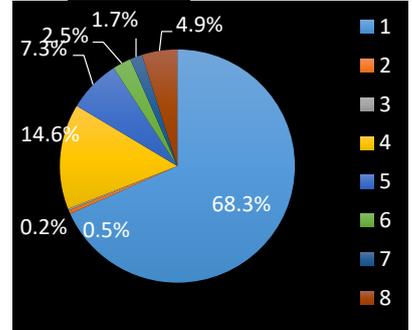
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

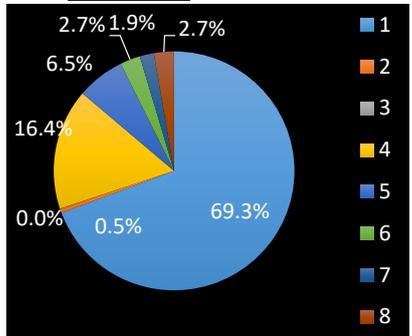
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	24PJ	19	16	32	68.3%
2 風力発電	0PJ	32	32	35	0.4%
3 地熱発電	0PJ	9	9	9	0.2%
○ 4 小水力発電	5PJ	9	15	18	13.8%
5 バイオマス発電	3PJ	18	18	29	8.3%
6 太陽熱利用	1PJ	15	16	33	2.5%
7 地熱利用	1PJ	12	15	21	1.6%
8 バイオマス熱利用	2PJ	16	13	24	4.8%
合計(供給量)	35PJ	20			
再生可能エネルギー自給率			31.9%	再生エネ自給率ランク 22	
食料自給率			24.0%	食料自給率ランク 34	
供給密度(TJ/km ²)			3.308	供給密度ランク 35	
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)				110PJ	
区域面積				10,621km ²	

2022年度 32PJ 対前年度比 112.1%



2021年度 29PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡川辺町	121.2%	1	瑞穂市	47.4	☆1	海津市	174.5%
☆2	美濃市	113.8%	2	可児市	22.6	☆2	安八郡輪之内町	137.5%
☆3	加茂郡富加町	113.3%	3	羽島郡岐南町	22.0	3	養老郡養老町	89.8%
☆4	恵那市	103.9%	4	本巣郡北方町	21.3	4	加茂郡東白川村	72.5%
☆5	揖斐郡揖斐川町	101.6%	5	多治見市	17.6	5	加茂郡白川町	65.1%
6	加茂郡白川町	92.4%	6	加茂郡富加町	15.5	6	揖斐郡揖斐川町	63.0%
7	加茂郡八百津町	80.7%	7	各務原市	15.3	7	郡上市	58.2%
8	飛騨市	69.3%	8	羽島郡笠松町	14.9	8	高山市	55.0%
9	本巣市	64.9%	9	加茂郡川辺町	14.0	9	揖斐郡大野町	49.5%
10	安八郡輪之内町	61.8%	10	安八郡輪之内町	13.0	10	大野郡白川村	49.5%

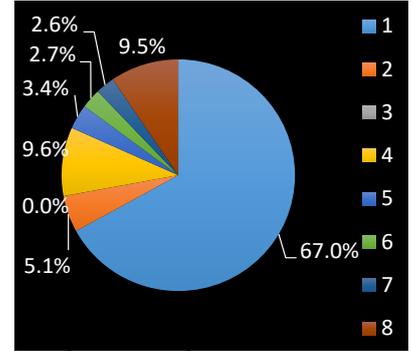
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

2023年度 57PJ 対前年度比 107.8%



再生可能エネルギー供給状況

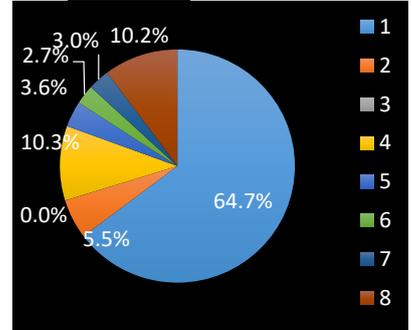
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

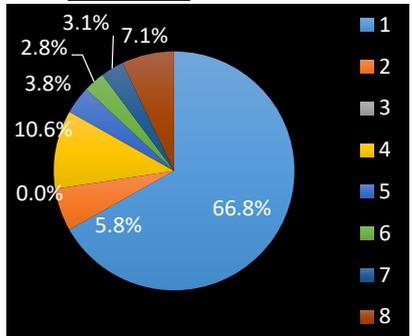
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	38PJ	9	20	13	67.0%
○ 2 風力発電	3PJ	8	19	11	5.1%
3 地熱発電	0PJ	11	12	12	0.0%
4 小水力発電	5PJ	8	24	9	9.6%
5 バイオマス発電	2PJ	30	42	32	3.4%
6 太陽熱利用	2PJ	5	18	9	2.7%
7 地熱利用	1PJ	5	7	3	2.6%
8.バイオマス熱利用	5PJ	2	5	5	9.5%
合計(供給量)	57PJ	6			
再生可能エネルギー自給率			28.4%	再生可能エネルギー自給率ランク	26
食料自給率			14.2%	食料自給率ランク	40
供給密度(TJ/km ²)			7.315	供給密度ランク	13
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				200PJ	
区域面積				7,777km ²	

2022年度 53PJ 対前年度比 104.4%



2021年度 51PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡河津町	212.4%	1	湖西市	23.2	1	周智郡森町	50.0%
☆2	賀茂郡南伊豆町	208.5%	2	御前崎市	21.2	2	焼津市	45.1%
☆3	駿東郡小山町	117.7%	3	榛原郡吉田町	20.9	3	御前崎市	37.9%
4	牧之原市	95.1%	4	焼津市	18.7	4	袋井市	35.9%
5	御前崎市	90.8%	5	牧之原市	17.5	5	駿東郡小山町	34.5%
6	賀茂郡東伊豆町	79.9%	6	磐田市	17.2	6	菊川市	32.8%
7	榛原郡川根本町	67.0%	7	島田市	14.5	7	掛川市	29.9%
8	湖西市	62.7%	8	袋井市	14.4	8	伊豆市	29.7%
9	島田市	60.7%	9	菊川市	13.8	9	牧之原市	29.6%
10	掛川市	58.5%	10	駿東郡清水町	12.9	10	富士宮市	28.8%

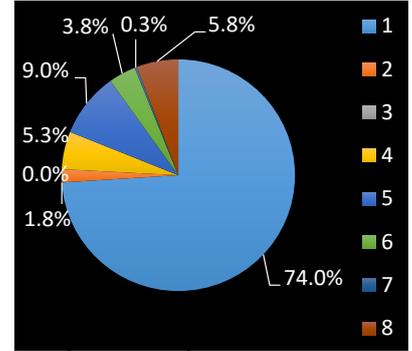
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2023年度 62PJ 対前年度比 106.1%



再生可能エネルギー供給状況

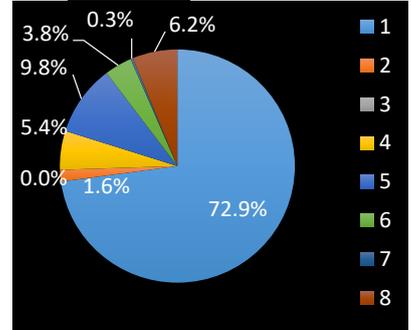
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

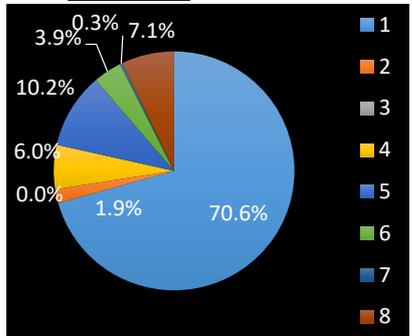
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	46PJ	3	32	4	74.0%
2 風力発電	1PJ	18	29	19	1.8%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3PJ	19	33	11	5.3%
5 バイオマス発電	6PJ	8	33	4	9.0%
6 太陽熱利用	2PJ	1	26	5	3.8%
7 地熱利用	0PJ	28	36	27	0.3%
8.バイオマス熱利用	4PJ	4	23	6	5.8%
合計(供給量)	62PJ	3			
再生可能エネルギー自給率			15.5%	再生可能エネルギー自給率ランク 39	
食料自給率			10.8%	食料自給率ランク 43	
供給密度(TJ/km ²)			11.905	供給密度ランク 5	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				396PJ	
区域面積				5,170km ²	

2022年度 58PJ 対前年度比 111.2%



2021年度 52PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	122.1%	1	知多郡武豊町	60.1	☆1	海部郡飛島村	232.3%
☆2	知多郡美浜町	102.3%	2	春日井市	28.1	☆2	田原市	140.7%
3	知多郡武豊町	99.1%	3	高浜市	26.2	☆3	知多郡南知多町	116.2%
4	新城市	71.5%	4	知多郡東浦町	25.3	☆4	北設楽郡設楽町	110.8%
5	海部郡飛島村	52.2%	5	名古屋市	25.1	5	弥富市	66.2%
6	知多郡東浦町	41.9%	6	知多郡美浜町	24.2	6	愛西市	62.2%
7	知多郡阿久比町	41.1%	7	一宮市	23.8	7	新城市	50.6%
8	知多郡南知多町	41.0%	8	半田市	23.7	8	知多郡美浜町	49.0%
9	豊田市	38.3%	9	海部郡大治町	23.1	9	西尾市	42.5%
10	北設楽郡設楽町	36.9%	10	岩倉市	22.5	10	安城市	32.0%

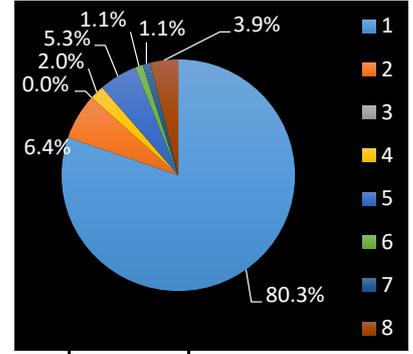
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2023年度 53PJ 対前年度比 109.4%



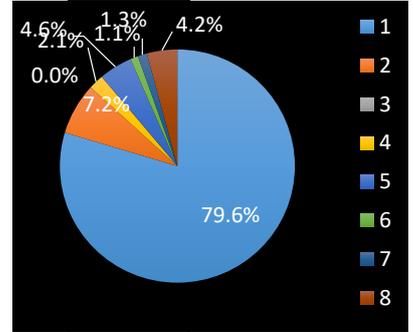
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

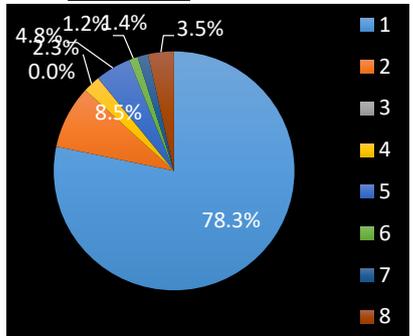
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	7	3	6	80.3%
○ 2 風力発電	3PJ	7	12	4	6.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	35	32	36	2.0%
5 バイオマス発電	3PJ	20	16	14	5.3%
6 太陽熱利用	1PJ	27	28	28	1.1%
7 地熱利用	1PJ	13	14	12	1.1%
8. バイオマス熱利用	2PJ	14	9	11	3.9%
合計(供給量)	53PJ	10			
再生可能エネルギー自給率			50.5%	再生可能エネルギー自給率ランク	5
食料自給率			36.8%	食料自給率ランク	25
供給密度(TJ/km ²)			9.100	供給密度ランク	8
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				104PJ	
区域面積				5,774km ²	

2022年度 48PJ 対前年度比 111.3%



2021年度 43PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	577.3%	1	三重郡川越町	101.7	☆1	度会郡南伊勢町	199.5%
☆2	多気郡多気町	174.7%	2	四日市市	23.6	☆2	桑名郡木曾岬町	134.5%
☆3	多気郡大台町	168.9%	3	多気郡明和町	23.1	☆3	多気郡多気町	120.6%
☆4	伊賀市	117.5%	4	員弁郡東員町	21.7	☆4	度会郡玉城町	117.4%
☆5	鳥羽市	106.2%	5	多気郡多気町	21.6	☆5	多気郡明和町	101.1%
6	多気郡明和町	87.4%	6	鈴鹿市	20.3	6	伊賀市	93.5%
7	いなべ市	87.0%	7	度会郡度会町	15.7	7	南牟婁郡御浜町	92.8%
8	北牟婁郡紀北町	86.6%	8	三重郡菰野町	14.8	8	鳥羽市	68.2%
9	三重郡菰野町	83.2%	9	桑名市	13.9	9	度会郡大紀町	64.4%
10	志摩市	78.3%	10	三重郡朝日町	13.7	10	松阪市	62.4%

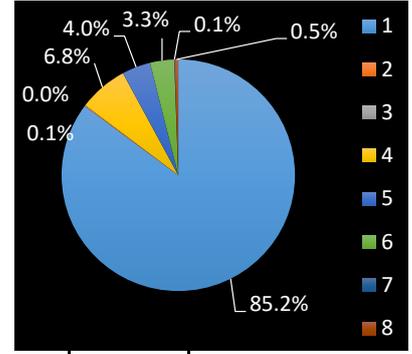
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2023年度 15PJ 対前年度比 106.6%



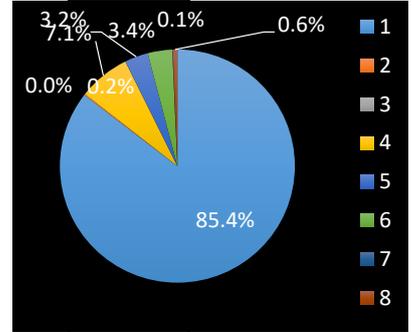
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

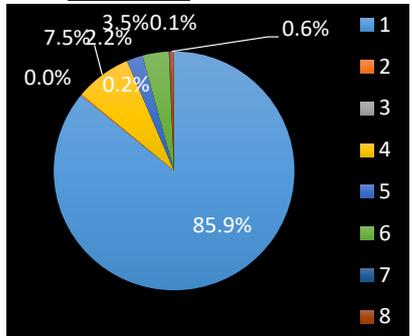
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	28	24	22	85.2%
○ 2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.1%
○ 3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	36	29	30	6.8%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	44	45	43	4.0%
○ 6 太陽熱利用	0PJ	28	23	19	3.3%
○ 7 地熱利用	0PJ	45	44	44	0.1%
○ 8 バイオマス熱利用	0PJ	47	46	47	0.5%
合計(供給量)	15PJ	37			
再生可能エネルギー自給率			19.2%	再生可能エネルギー自給率ランク 34	
食料自給率			46.1%	食料自給率ランク 20	
供給密度(TJ/km ²)			3.709	供給密度ランク 31	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				78PJ	
区域面積				4,017km ²	

2022年度 14PJ 対前年度比 107.4%



2021年度 13PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	64.9%	1	草津市	15.2	☆1	蒲生郡竜王町	176.2%
2	米原市	50.3%	2	彦根市	11.1	☆2	犬上郡甲良町	169.6%
3	高島市	48.6%	3	犬上郡豊郷町	10.7	☆3	高島市	113.5%
4	甲賀市	45.8%	4	守山市	10.5	☆4	東近江市	112.0%
5	犬上郡多賀町	41.6%	5	愛知郡愛荘町	9.3	☆5	蒲生郡日野町	101.6%
6	愛知郡愛荘町	37.3%	6	栗東市	8.9	☆6	愛知郡愛荘町	100.8%
7	蒲生郡竜王町	37.2%	7	犬上郡甲良町	8.1	7	近江八幡市	84.5%
8	犬上郡甲良町	36.6%	8	野洲市	6.5	8	長浜市	82.2%
9	東近江市	32.3%	9	近江八幡市	6.2	9	犬上郡多賀町	81.0%
10	犬上郡豊郷町	22.3%	10	湖南市	6.2	10	野洲市	76.4%

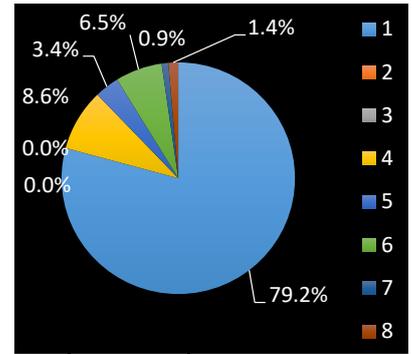
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2023年度 10PJ 対前年度比 104.7%

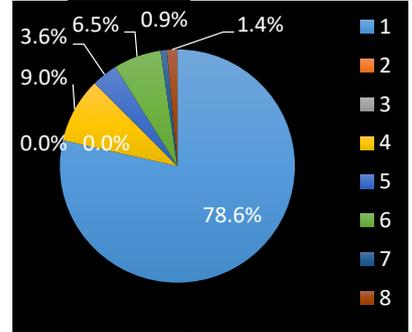


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

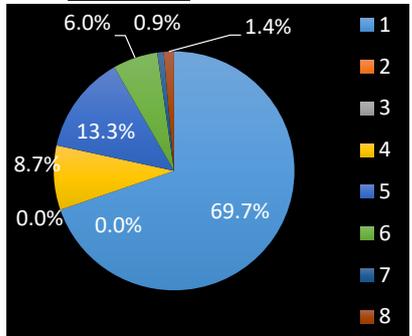
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	38	43	36	79.2%
○ 2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
○ 3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	38	37	33	8.6%
○ 5 バイオマス発電	0PJ	47	47	47	3.4%
○ 6 太陽熱利用	1PJ	23	30	14	6.5%
○ 7 地熱利用	0PJ	33	34	33	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	0PJ	46	47	46	1.4%
合計(供給量)	10PJ	45			
再生可能エネルギー自給率			6.7%	再エネ自給率ランク 45	
食料自給率			11.3%	食料自給率ランク 42	
供給密度(TJ/km ²)			2.268	供給密度ランク 40	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				156PJ	
区域面積				4,585km ²	

2022年度 10PJ 対前年度比 96.8%



2021年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	181.7%	1	木津川市	95.9	☆1	与謝郡伊根町	241.2%
☆2	相楽郡笠置町	115.5%	2	向日市	12.0	☆2	船井郡京丹波町	143.4%
3	船井郡京丹波町	88.1%	3	城陽市	11.5	☆3	京丹後市	101.1%
4	綴喜郡宇治田原町	56.6%	4	長岡京市	10.3	4	南丹市	96.3%
5	南丹市	32.1%	5	相楽郡精華町	10.0	5	綾部市	81.9%
6	綾部市	27.5%	6	八幡市	8.7	6	与謝郡与謝野町	62.9%
7	相楽郡和束町	18.2%	7	京田辺市	8.0	7	相楽郡南山城村	59.1%
8	亀岡市	17.1%	8	宇治市	7.0	8	宮津市	45.4%
9	京丹後市	16.8%	9	久世郡久御山町	6.2	9	相楽郡和束町	37.4%
10	木津川市	16.2%	10	綴喜郡宇治田原町	4.4	10	亀岡市	37.0%

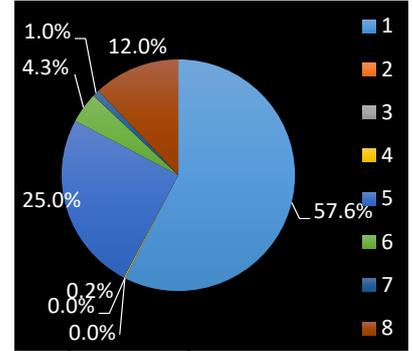
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

2023年度 29PJ 対前年度比 100.4%



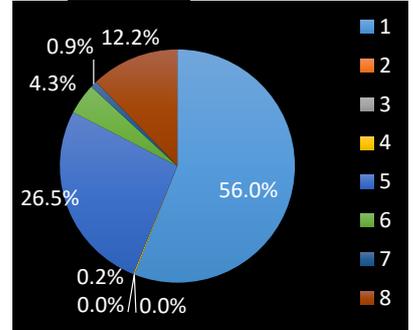
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

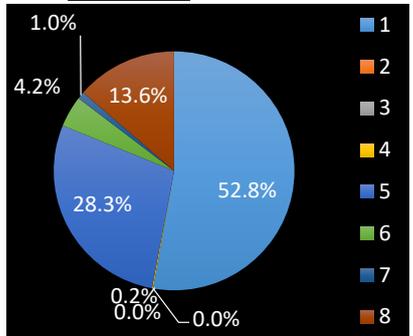
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	23	45	3	57.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	45	46	44	0.2%
◎ 5 バイオマス発電	7PJ	4	34	3	25.0%
6 太陽熱利用	1PJ	8	38	1	4.3%
7 地熱利用	0PJ	22	35	7	1.0%
○ 8 バイオマス熱利用	4PJ	5	30	1	12.0%
合計(供給量)	29PJ	26			
再生可能エネルギー自給率			5.6%	再生可能エネルギー自給率ランク	46
食料自給率			1.4%	食料自給率ランク	46
供給密度(TJ/km ²)			15.442	供給密度ランク	1
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				528PJ	
区域面積				1,905km ²	

2022年度 29PJ 対前年度比 105.1%



2021年度 28PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	63.2%	1	泉大津市	39.1	☆1	豊能郡能勢町	101.4%
2	豊能郡能勢町	24.6%	2	豊中市	36.2	2	南河内郡河南町	50.5%
3	豊能郡豊能町	19.2%	3	大阪市	35.2	3	南河内郡千早赤阪村	25.9%
4	泉南市	19.1%	4	八尾市	28.4	4	南河内郡太子町	10.6%
5	南河内郡千早赤阪村	18.1%	5	寝屋川市	27.9	5	豊能郡豊能町	10.2%
6	南河内郡河南町	17.8%	6	堺市	23.8	6	泉南郡岬町	9.3%
7	柏原市	16.1%	7	東大阪市	21.4	7	阪南市	8.2%
8	四條畷市	15.0%	8	吹田市	20.2	8	泉佐野市	7.0%
9	泉大津市	14.3%	9	柏原市	19.6	9	岸和田市	6.9%
10	和泉市	13.6%	10	四條畷市	19.2	10	泉南市	6.8%

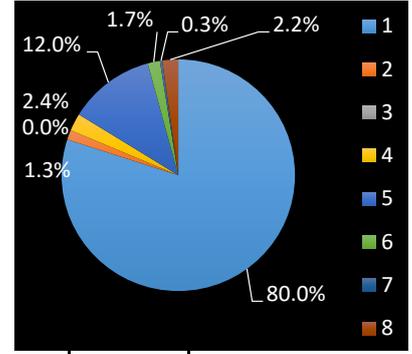
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

2023年度 55PJ 対前年度比 106.5%



再生可能エネルギー供給状況

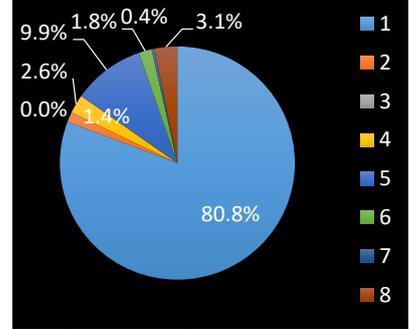
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再生エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

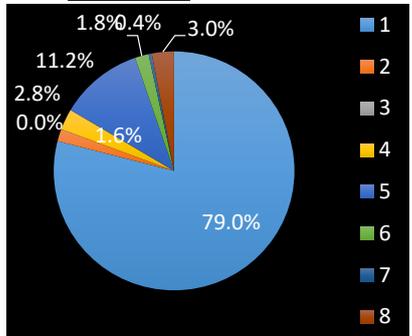
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再生エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	44PJ	5	25	12	80.0%
2 風力発電	1PJ	23	30	27	1.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	32	39	37	2.4%
○ 5 バイオマス発電	7PJ	6	19	8	12.0%
6 太陽熱利用	1PJ	14	33	24	1.7%
7 地熱利用	0PJ	29	33	32	0.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	21	40	26	2.2%
合計(供給量)	55PJ	7			
再生可能エネルギー自給率			20.0%	再生エネ自給率ランク	33
食料自給率			14.8%	食料自給率ランク	39
供給密度(TJ/km ²)			6.528	供給密度ランク	14
民生・農林水産用エネルギー需要(再生エネ熱含む)				275PJ	
区域面積				8,401km ²	

2022年度 52PJ 対前年度比 109.5%



2021年度 47PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	赤穂郡上郡町	341.0%	1	尼崎市	34.0	☆1	南あわじ市	134.8%
☆2	淡路市	150.8%	2	高砂市	31.1	☆2	丹波篠山市	109.6%
☆3	佐用郡佐用町	126.6%	3	明石市	28.3	☆3	加西市	100.5%
☆4	赤穂市	100.6%	4	加古郡稲美町	23.6	4	美方郡新温泉町	93.2%
5	加西市	95.1%	5	加古郡播磨町	22.1	5	丹波市	88.8%
6	神崎郡神河町	91.6%	6	西宮市	17.1	6	佐用郡佐用町	88.4%
7	丹波市	89.6%	7	淡路市	17.0	7	加東市	80.6%
8	南あわじ市	88.4%	8	赤穂市	16.9	8	多可郡多可町	80.2%
9	多可郡多可町	86.9%	9	赤穂郡上郡町	15.5	9	美方郡香美町	79.5%
10	宍粟市	77.8%	10	伊丹市	14.5	10	神崎郡神河町	78.0%

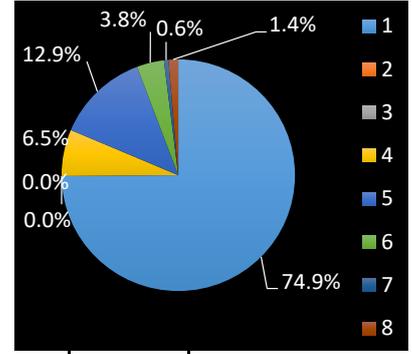
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

奈良県

2023年度 11PJ 対前年度比 110.7%

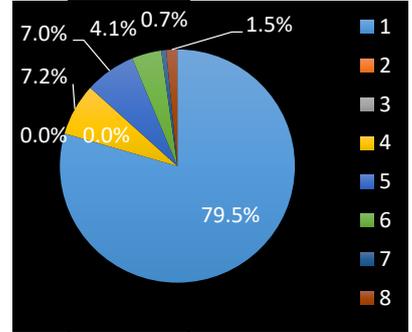


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

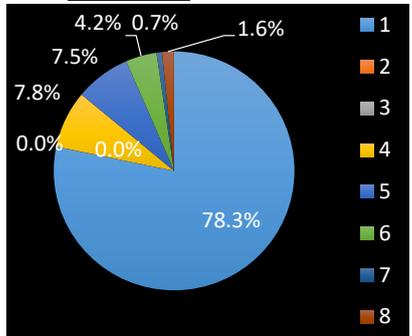
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J		
			再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	36	30	31	74.9%
2 風力発電	0PJ	39	39	39	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	39	31	32	6.5%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	34	25	21	12.9%
6 太陽熱利用	0PJ	32	24	23	3.8%
7 地熱利用	0PJ	35	28	35	0.6%
8 バイオマス熱利用	0PJ	45	44	43	1.4%
合計(供給量)	11PJ	44			
再生可能エネルギー自給率			16.1%	再生可能自給率ランク	38
食料自給率			13.8%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			3.025	供給密度ランク	38
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			69PJ		
区域面積			3,691km ²		

2022年度 10PJ 対前年度比 108.0%



2021年度 9PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	230.9%	1	生駒郡安堵町	23.4	☆1	宇陀郡御杖村	115.1%
☆2	吉野郡吉野町	203.7%	2	吉野郡大淀町	19.2	2	五條市	85.9%
3	吉野郡大淀町	87.7%	3	橿原市	14.6	3	山辺郡山添村	80.5%
4	山辺郡山添村	63.1%	4	大和高田市	14.1	4	宇陀郡曾爾村	64.5%
5	五條市	46.3%	5	香芝市	14.1	5	高市郡明日香村	62.5%
6	桜井市	42.4%	6	北葛城郡王寺町	13.1	6	宇陀市	50.2%
7	宇陀郡御杖村	39.5%	7	北葛城郡広陵町	12.4	7	御所市	44.9%
8	御所市	37.3%	8	北葛城郡上牧町	12.4	8	磯城郡田原本町	36.3%
9	宇陀市	34.9%	9	磯城郡三宅町	11.9	9	磯城郡三宅町	33.7%
10	高市郡高取町	33.4%	10	桜井市	11.7	10	高市郡高取町	33.1%

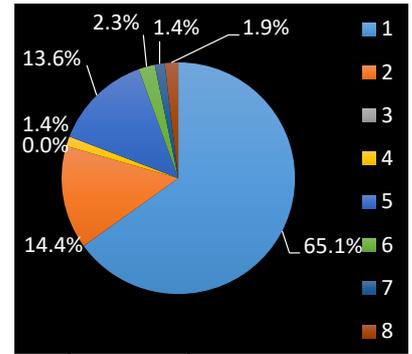
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2023年度 19PJ 対前年度比 103.6%



再生可能エネルギー供給状況

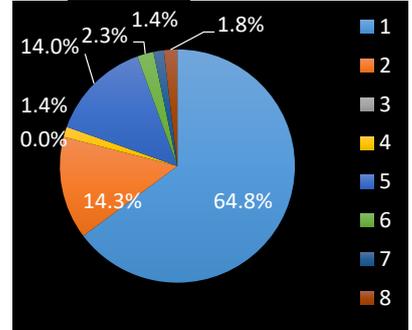
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

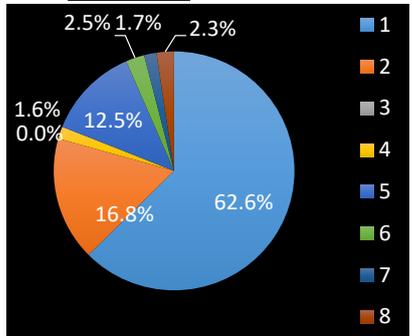
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	29	15	28	65.1%
○ 2 風力発電	3PJ	9	4	3	14.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	42	38	43	1.4%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	21	4	11	13.6%
6 太陽熱利用	0PJ	30	14	30	2.3%
7 地熱利用	0PJ	23	17	20	1.4%
8.バイオマス熱利用	0PJ	40	29	38	1.9%
合計(供給量)	19PJ	32			
再生可能エネルギー自給率			36.1%	再生可能エネルギー自給率ランク 15	
食料自給率			26.6%	食料自給率ランク 33	
供給密度(TJ/km ²)			4.056	供給密度ランク 26	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				53PJ	
区域面積				4,725km ²	

2022年度 19PJ 対前年度比 116.3%



2021年度 16PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡日高川町	356.8%	1	西牟婁郡上富田町	38.4	☆1	日高郡みなべ町	123.9%
☆2	西牟婁郡上富田町	265.0%	2	有田市	20.1	2	有田郡広川町	82.7%
☆3	有田郡広川町	165.3%	3	岩出市	18.6	3	有田郡有田川町	81.6%
☆4	西牟婁郡すさみ町	152.7%	4	和歌山市	15.1	4	日高郡日高町	78.1%
☆5	日高郡印南町	137.6%	5	日高郡美浜町	10.3	5	日高郡印南町	75.9%
☆6	有田郡有田川町	117.4%	6	有田郡広川町	8.2	6	日高郡日高川町	72.3%
7	日高郡由良町	93.0%	7	日高郡由良町	7.5	7	伊都郡かつらぎ町	65.5%
8	新宮市	84.3%	8	御坊市	7.4	8	紀の川市	58.7%
9	西牟婁郡白浜町	54.6%	9	新宮市	6.2	9	伊都郡九度山町	57.0%
10	有田市	49.7%	10	日高郡日高川町	5.6	10	有田郡湯浅町	55.4%

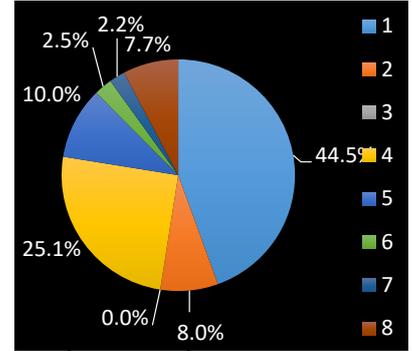
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

2023年度 12PJ 対前年度比 106.2%



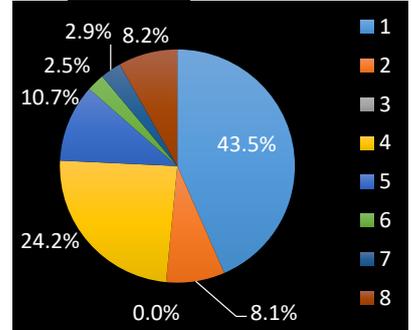
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

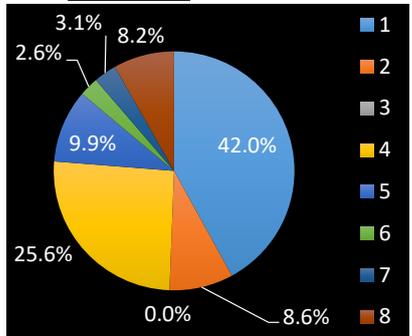
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	41	29	37	44.5%
2 風力発電	1PJ	22	14	16	8.0%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	21	3	6	25.1%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	35	11	23	10.0%
6 太陽熱利用	0PJ	37	13	32	2.5%
7 地熱利用	0PJ	25	9	14	2.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	26	7	14	7.7%
合計(供給量)	12PJ	43			
再生可能エネルギー自給率			32.6%	再生可能エネルギー自給率ランク	20
食料自給率			56.0%	食料自給率ランク	16
供給密度(TJ/km ²)			3.314	供給密度ランク	34
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				36PJ	
区域面積				3,507km ²	

2022年度 11PJ 対前年度比 106.3%



2021年度 10PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	344.0%	1	境港市	41.0	☆1	日野郡日南町	316.3%
☆2	東伯郡三朝町	160.5%	2	米子市	16.7	☆2	日野郡江府町	190.9%
☆3	西伯郡伯耆町	136.7%	3	東伯郡北栄町	6.7	☆3	西伯郡大山町	188.5%
☆4	西伯郡大山町	110.7%	4	西伯郡伯耆町	5.4	☆4	境港市	142.9%
5	日野郡江府町	79.3%	5	西伯郡大山町	4.6	☆5	東伯郡琴浦町	121.9%
6	八頭郡八頭町	61.3%	6	西伯郡日吉津村	3.6	☆6	西伯郡伯耆町	119.4%
7	東伯郡琴浦町	52.3%	7	鳥取市	3.2	☆7	東伯郡北栄町	109.9%
8	東伯郡北栄町	50.0%	8	東伯郡琴浦町	3.2	☆8	岩美郡岩美町	108.4%
9	境港市	47.1%	9	東伯郡湯梨浜町	3.1	☆9	八頭郡八頭町	102.0%
10	日野郡日南町	43.0%	10	八頭郡若桜町	3.1	10	日野郡日野町	99.8%

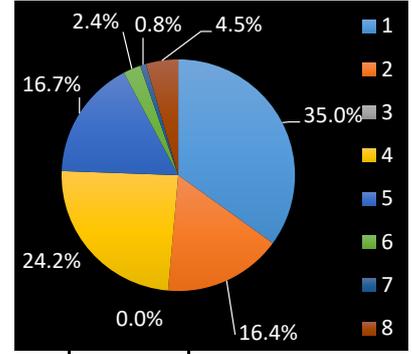
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

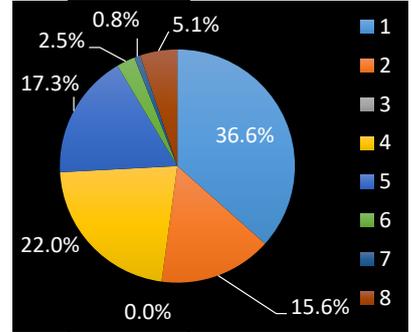
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

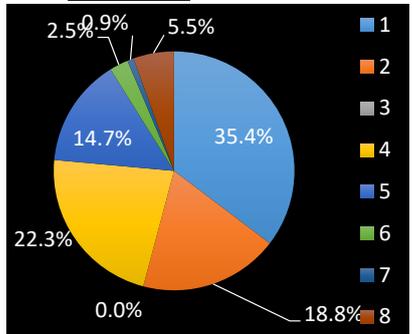
2023年度 14PJ 対前年度比 105.2%



2022年度 13PJ 対前年度比 102.2%



2021年度 13PJ



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	43	35	43	35.0%
○ 2 風力発電	2PJ	12	6	13	16.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	17	7	15	24.2%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	26	3	22	16.7%
6 太陽熱利用	0PJ	35	20	36	2.4%
7 地熱利用	0PJ	32	25	36	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	35	18	33	4.5%
合計(供給量)	14PJ	41			
再生可能エネルギー自給率			30.2%	再生可能エネルギー自給率ランク 24	
食料自給率			60.4%	食料自給率ランク 15	
供給密度(TJ/km ²)			2.029	供給密度ランク 43	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				45PJ	
区域面積				6,708km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	168.6%	1	江津市	8.6	☆1	隠岐郡西ノ島町	459.2%
☆2	鹿足郡津和野町	151.4%	2	出雲市	4.2	☆2	飯石郡飯南町	334.5%
3	邑智郡邑南町	77.3%	3	松江市	4.1	☆3	隠岐郡隠岐の島町	250.5%
4	雲南市	56.1%	4	浜田市	2.8	☆4	仁多郡奥出雲町	247.5%
5	浜田市	49.6%	5	鹿足郡津和野町	2.3	☆5	邑智郡邑南町	190.6%
6	邑智郡美郷町	43.5%	6	雲南市	2.1	☆6	鹿足郡吉賀町	136.7%
7	仁多郡奥出雲町	34.8%	7	隠岐郡海士町	1.5	☆7	安来市	106.5%
8	隠岐郡海士町	28.1%	8	安来市	1.3	8	大田市	92.6%
9	鹿足郡吉賀町	27.5%	9	邑智郡邑南町	1.3	9	邑智郡美郷町	88.4%
10	安来市	27.1%	10	益田市	1.0	10	鹿足郡津和野町	88.2%

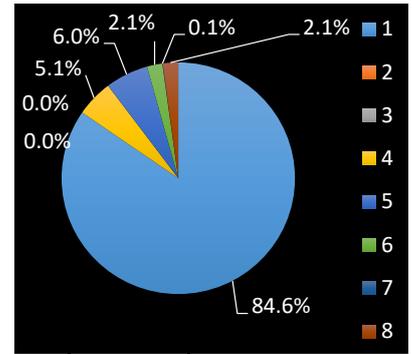
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

2023年度 39PJ 対前年度比 98.6%



再生可能エネルギー供給状況

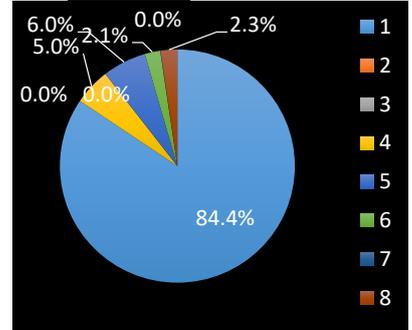
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

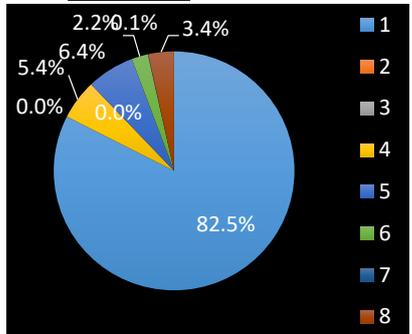
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	33PJ	10	8	14	84.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	25	26	27	5.1%
5 バイオマス発電	2PJ	25	22	26	6.0%
6 太陽熱利用	1PJ	17	15	22	2.1%
7 地熱利用	0PJ	42	42	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	28	26	29	2.1%
合計(供給量)	39PJ	18			
再生可能エネルギー自給率			38.0%	再生可能エネルギー自給率ランク 14	
食料自給率			33.1%	食料自給率ランク 28	
供給密度(TJ/km ²)			5.465	供給密度ランク 19	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				102PJ	
区域面積				7,107km ²	

2022年度 39PJ 対前年度比 108.6%



2021年度 36PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	美作市	282.1%	1	瀬戸内市	24.8	☆1	岡山市	250.5%
☆2	和気郡和気町	255.6%	2	都窪郡早島町	23.2	☆2	加賀郡吉備中央町	204.8%
☆3	久米郡久米南町	239.7%	3	倉敷市	11.9	☆3	真庭郡新庄村	192.5%
☆4	久米郡美咲町	230.9%	4	和気郡和気町	11.2	☆4	勝田郡奈義町	162.3%
☆5	勝田郡奈義町	213.4%	5	笠岡市	10.8	☆5	久米郡久米南町	144.4%
☆6	瀬戸内市	167.3%	6	玉野市	9.7	☆6	苫田郡鏡野町	132.3%
☆7	苫田郡鏡野町	153.6%	7	浅口郡里庄町	9.6	☆7	久米郡美咲町	114.6%
☆8	真庭市	135.4%	8	浅口市	9.4	☆8	勝田郡勝央町	106.3%
☆9	加賀郡吉備中央町	110.1%	9	勝田郡奈義町	9.4	9	真庭市	99.5%
10	新見市	90.0%	10	美作市	8.5	10	美作市	94.9%

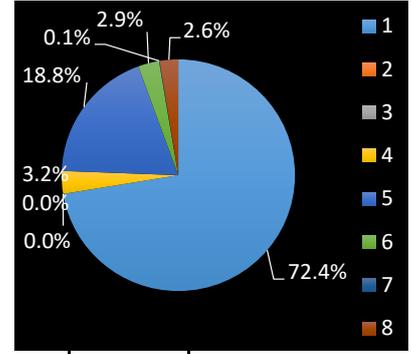
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

2023年度 35PJ 対前年度比 101.7%



再生可能エネルギー供給状況

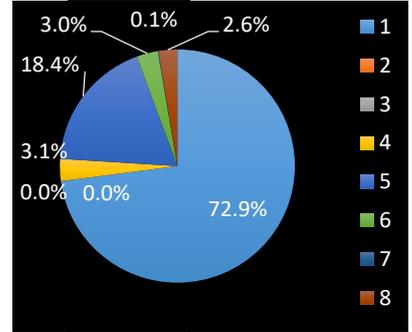
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

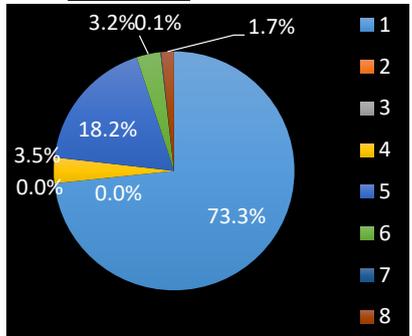
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25PJ	17	26	23	72.4%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	34	35	39	3.2%
○ 5 バイオマス発電	7PJ	5	6	9	18.8%
6 太陽熱利用	1PJ	11	22	20	2.9%
7 地熱利用	0PJ	40	43	41	0.1%
8 バイオマス熱利用	1PJ	25	33	31	2.6%
合計(供給量)	35PJ	21			
再生可能エネルギー自給率			22.1%	再生可能エネルギー自給率ランク 29	
食料自給率			20.1%	食料自給率ランク 36	
供給密度(TJ/km ²)			4.140	供給密度ランク 25	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				159PJ	
区域面積				8,480km ²	

2022年度 35PJ 対前年度比 113.5%



2021年度 30PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	山県郡北広島町	117.3%	1	安芸郡海田町	27.2	☆1	世羅郡世羅町	289.4%
2	神石郡神石高原町	88.1%	2	安芸郡府中町	24.5	☆2	山県郡北広島町	257.3%
3	三次市	77.2%	3	呉市	14.4	☆3	庄原市	230.4%
4	庄原市	75.5%	4	安芸郡熊野町	8.5	☆4	神石郡神石高原町	194.2%
5	安芸高田市	71.8%	5	福山市	7.7	☆5	安芸高田市	186.0%
6	世羅郡世羅町	68.9%	6	東広島市	6.9	☆6	三次市	129.7%
7	廿日市市	50.4%	7	廿日市市	5.8	7	江田島市	88.2%
8	呉市	45.2%	8	尾道市	5.7	8	山県郡安芸太田町	66.9%
9	豊田郡大崎上島町	44.1%	9	広島市	5.3	9	三原市	51.3%
10	三原市	40.2%	10	豊田郡大崎上島町	4.4	10	東広島市	34.3%

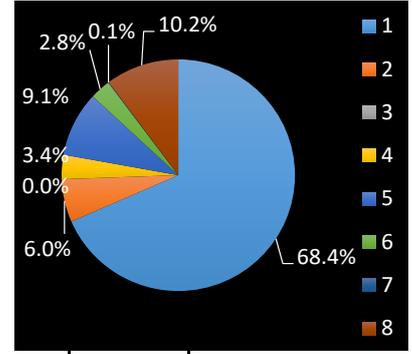
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2023年度 28PJ 対前年度比 101.8%



再生可能エネルギー供給状況

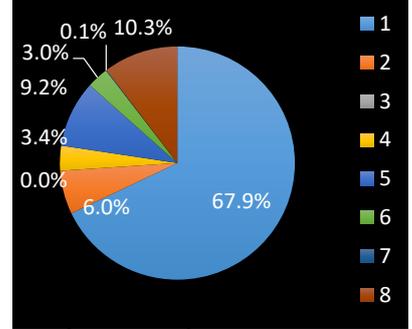
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

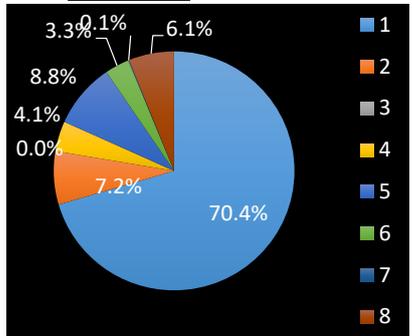
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19PJ	22	14	21	68.4%
2 風力発電	2PJ	16	17	15	6.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	37	30	38	3.4%
5 バイオマス発電	3PJ	22	13	17	9.1%
6 太陽熱利用	1PJ	19	8	18	2.8%
7 地熱利用	0PJ	41	37	40	0.1%
○ 8 バイオマス熱利用	3PJ	6	2	10	10.2%
合計(供給量)	28PJ	27			
再生可能エネルギー自給率			34.6%	再生可能エネルギー自給率ランク	17
食料自給率			28.4%	食料自給率ランク	31
供給密度(TJ/km ²)			4.650	供給密度ランク	22
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			82PJ		
区域面積			6,113km ²		

2022年度 28PJ 対前年度比 118.1%



2021年度 24PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	熊毛郡平生町	132.7%	1	熊毛郡平生町	23.7	☆1	阿武郡阿武町	240.2%
☆2	美祢市	118.7%	2	山陽小野田市	14.1	☆2	美祢市	128.2%
3	柳井市	73.5%	3	防府市	11.6	3	長門市	87.6%
4	熊毛郡田布施町	57.2%	4	下松市	10.5	4	萩市	80.0%
5	山陽小野田市	56.2%	5	柳井市	10.2	5	山口市	48.9%
6	岩国市	52.9%	6	宇部市	9.0	6	柳井市	35.9%
7	防府市	34.9%	7	熊毛郡田布施町	7.3	7	大島郡周防大島町	33.6%
8	大島郡周防大島町	34.5%	8	下関市	6.1	8	熊毛郡田布施町	29.9%
9	下松市	29.6%	9	光市	5.7	9	下関市	27.3%
10	周南市	29.0%	10	岩国市	4.5	10	山陽小野田市	21.1%

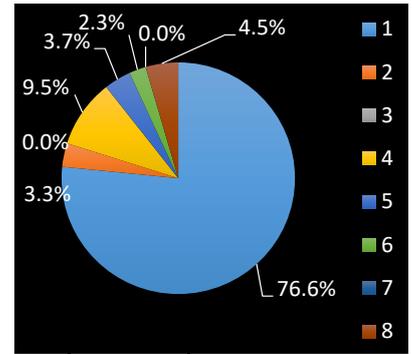
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2023年度 15PJ 対前年度比 100.0%



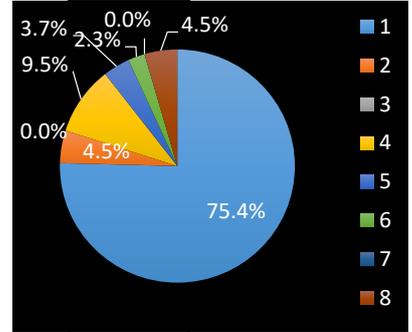
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

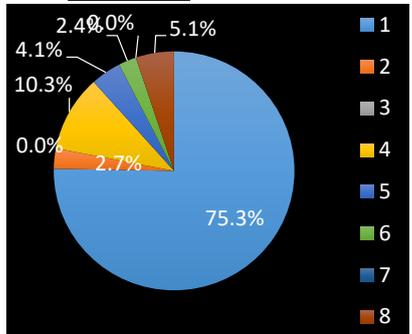
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	31	11	27	76.6%
○ 2 風力発電	1PJ	27	21	25	3.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	30	22	25	9.5%
5 バイオマス発電	1PJ	45	36	44	3.7%
6 太陽熱利用	0PJ	34	17	31	2.3%
7 地熱利用	0PJ	47	47	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	30	14	22	4.5%
合計(供給量)	15PJ	35			
再生可能エネルギー自給率			34.0%	再生可能エネルギー供給密度ランク	19
食料自給率			33.8%	食料自給率ランク	27
供給密度(TJ/km ²)			3.736	供給密度ランク	29
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				46PJ	
区域面積				4,147km ²	

2022年度 15PJ 対前年度比 108.5%



2021年度 14PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	445.2%	1	小松島市	31.9	☆1	阿波市	126.4%
☆2	勝浦郡上勝町	148.5%	2	板野郡北島町	22.7	2	勝浦郡勝浦町	89.1%
☆3	阿波市	125.9%	3	板野郡松茂町	14.2	3	海部郡海陽町	76.7%
☆4	三好市	116.8%	4	板野郡藍住町	13.5	4	名東郡佐那河内村	72.4%
5	板野郡上板町	75.4%	5	板野郡上板町	12.2	5	板野郡上板町	66.9%
6	美馬市	74.0%	6	名西郡石井町	11.5	6	阿南市	54.3%
7	阿南市	51.2%	7	阿波市	11.3	7	板野郡板野町	52.4%
8	吉野川市	49.7%	8	徳島市	10.3	8	小松島市	52.3%
9	小松島市	49.1%	9	名東郡佐那河内村	9.4	9	美馬市	49.9%
10	美馬郡つるぎ町	47.0%	10	板野郡板野町	7.8	10	板野郡松茂町	46.9%

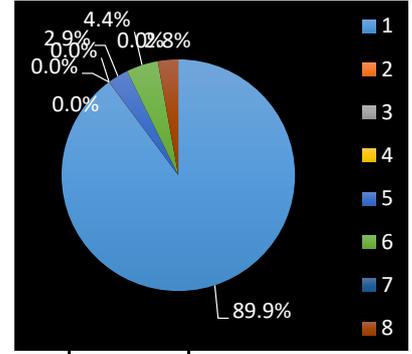
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2023年度 14PJ 対前年度比 101.4%



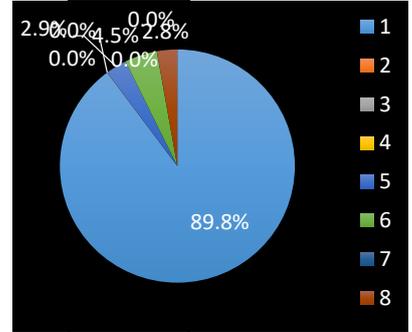
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

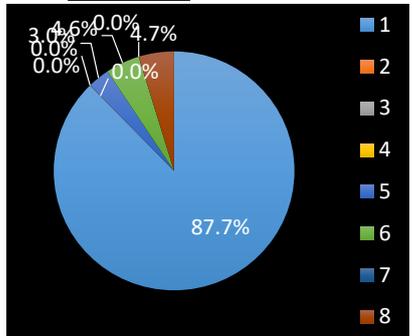
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	27	17	8	89.9%
2 風力発電	0PJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	47	47	47	0.0%
5 バイオマス発電	0PJ	46	46	33	2.9%
6 太陽熱利用	1PJ	26	4	7	4.4%
7 地熱利用	0PJ	46	46	46	0.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	39	31	17	2.8%
合計(供給量)	14PJ	40			
再生可能エネルギー自給率			23.6%	再生可能エネルギー自給率ランク 28	
食料自給率			31.1%	食料自給率ランク 29	
供給密度(TJ/km ²)			7.539	供給密度ランク 12	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				60PJ	
区域面積				1,877km ²	

2022年度 14PJ 対前年度比 106.2%



2021年度 13PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	仲多度郡まんのう町	107.8%	1	綾歌郡宇多津町	19.4	☆1	仲多度郡まんのう町	120.5%
2	三豊市	56.4%	2	坂出市	11.5	2	綾歌郡綾川町	93.1%
3	さぬき市	42.7%	3	高松市	11.0	3	三豊市	70.1%
4	東かがわ市	38.5%	4	丸亀市	10.3	4	香川郡直島町	64.4%
5	綾歌郡綾川町	36.5%	5	仲多度郡多度津町	9.1	5	さぬき市	60.6%
6	木田郡三木町	34.4%	6	観音寺市	8.5	6	東かがわ市	57.7%
7	小豆郡小豆島町	34.4%	7	三豊市	8.2	7	観音寺市	57.4%
8	坂出市	31.8%	8	善通寺市	8.1	8	木田郡三木町	50.5%
9	観音寺市	30.0%	9	仲多度郡琴平町	7.2	9	仲多度郡琴平町	36.2%
10	丸亀市	19.3%	10	さぬき市	6.9	10	善通寺市	34.8%

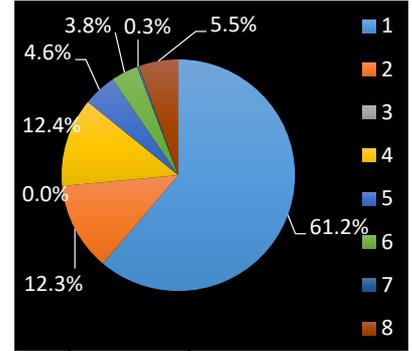
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛媛県

2023年度 21PJ 対前年度比 102.2%



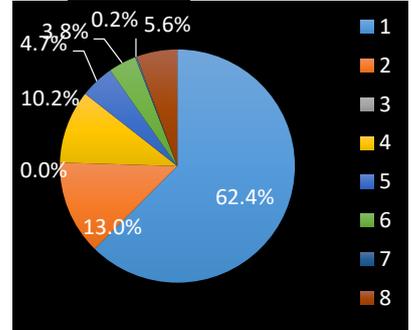
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

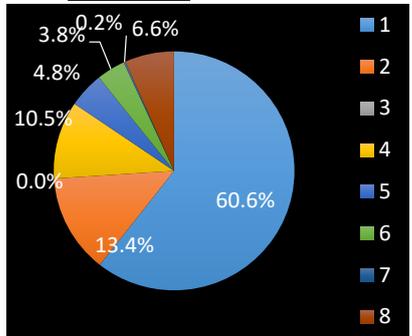
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	26	23	30	61.2%
○ 2 風力発電	3PJ	10	11	7	12.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	23	21	17	12.4%
5 バイオマス発電	1PJ	38	37	40	4.6%
6 太陽熱利用	1PJ	20	5	15	3.8%
7 地熱利用	0PJ	36	31	37	0.3%
8 バイオマス熱利用	1PJ	22	16	19	5.5%
合計(供給量)	21PJ	30			
再生可能エネルギー自給率			26.9%	再生可能エネルギー自給率ランク 27	
食料自給率			33.9%	食料自給率ランク 26	
供給密度(TJ/km ²)			3.709	供給密度ランク 30	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				78PJ	
区域面積				5,676km ²	

2022年度 21PJ 対前年度比 103.5%



2021年度 20PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	265.1%	1	西宇和郡伊方町	15.6	☆1	南宇和郡愛南町	235.0%
☆2	上浮穴郡久万高原町	180.7%	2	伊予郡松前町	14.8	☆2	西予市	121.4%
3	西条市	53.0%	3	新居浜市	10.7	☆3	上浮穴郡久万高原町	112.3%
4	南宇和郡愛南町	50.9%	4	松山市	9.1	☆4	北宇和郡松野町	110.0%
5	西予市	45.9%	5	西条市	5.9	☆5	西宇和郡伊方町	103.8%
6	大洲市	45.7%	6	今治市	5.7	6	北宇和郡鬼北町	98.6%
7	新居浜市	36.7%	7	南宇和郡愛南町	3.0	7	宇和島市	87.3%
8	北宇和郡松野町	35.0%	8	大洲市	2.6	8	八幡浜市	72.4%
9	北宇和郡鬼北町	29.9%	9	四国中央市	2.4	9	西条市	62.4%
10	今治市	28.6%	10	宇和島市	2.3	10	喜多郡内子町	53.1%

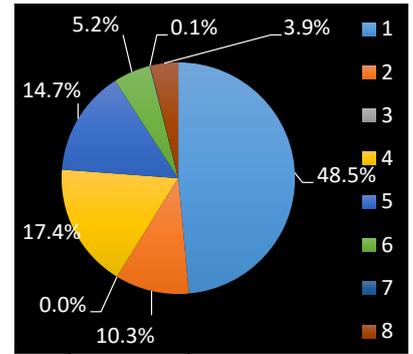
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

2023年度 15PJ 対前年度比 103.2%



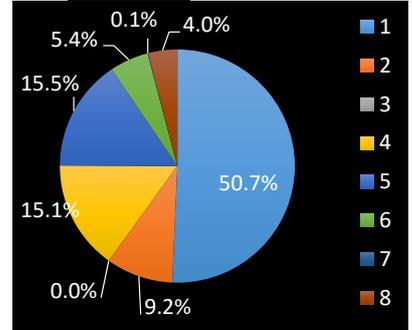
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

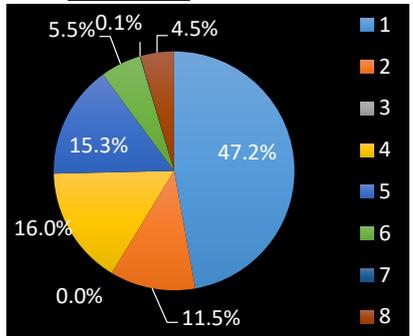
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	39	22	40	48.5%
○ 2 風力発電	2PJ	17	10	20	10.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	24	10	24	17.4%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	27	2	27	14.7%
6 太陽熱利用	1PJ	21	2	25	5.2%
7 地熱利用	0PJ	44	39	45	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	36	17	36	3.9%
合計(供給量)	15PJ	38			
再生可能エネルギー自給率			35.3%	再生可能エネルギー自給率ランク	16
食料自給率			39.0%	食料自給率ランク	23
供給密度(TJ/km ²)			2.079	供給密度ランク	42
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				42PJ	
区域面積				7,104km ²	

2022年度 14PJ 対前年度比 105.4%



2021年度 14PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	高岡郡檮原町	391.6%	1	高知市	11.6	☆1	幡多郡大月町	206.2%
☆2	幡多郡大月町	255.9%	2	幡多郡大月町	9.9	☆2	幡多郡三原村	196.3%
☆3	長岡郡大豊町	246.9%	3	南国市	5.4	☆3	高岡郡四万十町	166.8%
☆4	吾川郡仁淀川町	229.4%	4	土佐市	5.0	☆4	土佐郡土佐町	140.3%
☆5	高岡郡津野町	115.0%	5	高岡郡佐川町	3.8	☆5	安芸郡北川村	132.4%
6	香美市	98.7%	6	高岡郡檮原町	3.2	☆6	安芸郡安田町	118.8%
7	長岡郡本山町	72.6%	7	安芸郡田野町	3.1	☆7	幡多郡黒潮町	117.6%
8	高岡郡佐川町	68.4%	8	安芸郡芸西村	3.1	☆8	安芸郡東洋町	104.6%
9	宿毛市	64.4%	9	安芸郡奈半利町	2.8	9	高岡郡中土佐町	97.9%
10	室戸市	63.2%	10	高岡郡日高村	2.8	10	長岡郡本山町	96.5%

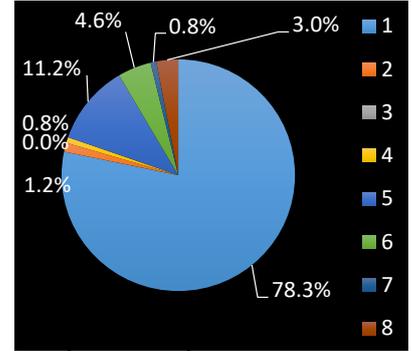
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

2023年度 41PJ 対前年度比 96.5%

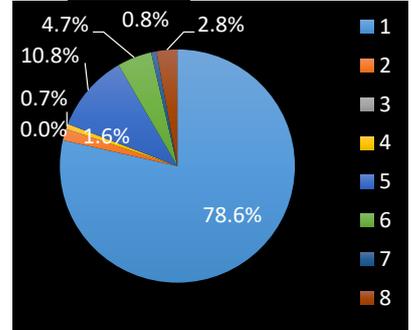


再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

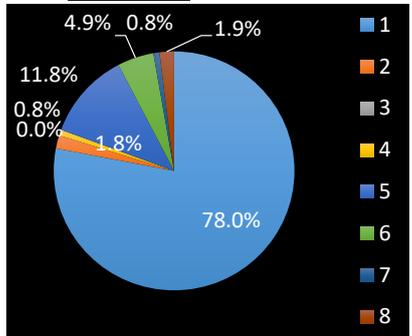
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	12	33	10	78.3%
2 風力発電	1PJ	28	31	26	1.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	41	42	41	0.8%
○ 5 バイオマス発電	5PJ	10	30	6	11.2%
6 太陽熱利用	2PJ	2	21	6	4.6%
7 地熱利用	0PJ	20	27	17	0.8%
8 バイオマス熱利用	1PJ	20	41	15	3.0%
合計(供給量)	41PJ	14			
再生可能エネルギー自給率			14.4%	再生可能エネルギー供給密度ランク 40	
食料自給率			19.1%	食料自給率ランク 37	
供給密度(TJ/km ²)			7.951	供給密度ランク 11	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				283PJ	
区域面積				5,127km ²	

2022年度 42PJ 対前年度比 109.3%



2021年度 39PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	京都府みやこ町	148.9%	1	春日市	51.0	☆1	築上郡上毛町	190.9%
☆2	田川郡川崎町	116.5%	2	田川郡川崎町	22.3	☆2	みやま市	170.4%
☆3	田川郡赤村	111.6%	3	田川郡糸田町	17.6	☆3	朝倉郡筑前町	152.9%
☆4	築上郡上毛町	108.9%	4	大牟田市	17.6	☆4	柳川市	140.3%
5	嘉麻市	98.2%	5	朝倉郡筑前町	17.0	☆5	三潁郡大木町	137.7%
6	宮若市	74.6%	6	鞍手郡小竹町	15.9	☆6	田川郡赤村	131.8%
7	鞍手郡小竹町	73.0%	7	糟屋郡志免町	15.2	☆7	築上郡築上町	129.2%
8	田川郡大任町	71.9%	8	筑後市	14.8	☆8	京都府みやこ町	126.8%
9	朝倉郡筑前町	68.2%	9	宗像市	14.7	☆9	三井郡大刀洗町	123.4%
10	嘉穂郡桂川町	54.0%	10	糟屋郡粕屋町	13.6	☆10	朝倉市	119.7%

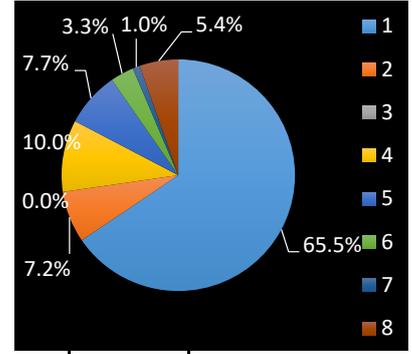
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

2023年度 14PJ 対前年度比 96.5%



再生可能エネルギー供給状況

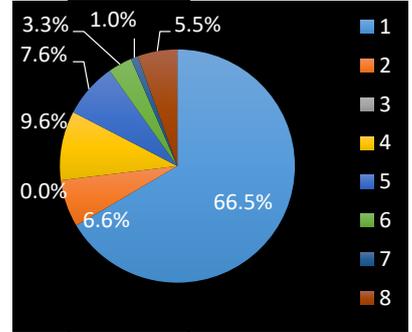
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

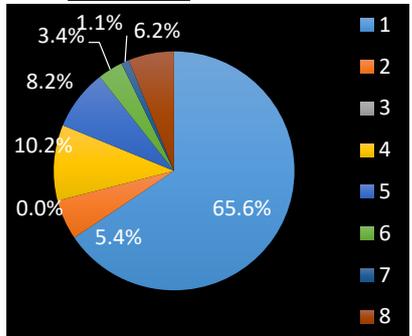
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9PJ	35	18	17	65.5%
2 風力発電	1PJ	19	16	8	7.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1PJ	31	23	13	10.0%
5 バイオマス発電	1PJ	37	20	15	7.7%
6 太陽熱利用	0PJ	29	7	12	3.3%
7 地熱利用	0PJ	30	22	19	1.0%
8 バイオマス熱利用	1PJ	29	11	12	5.4%
合計(供給量)	14PJ	39			
再生可能エネルギー自給率			30.4%	再生可能エネルギー自給率ランク 23	
食料自給率			96.1%	食料自給率ランク 7	
供給密度(TJ/km ²)			5.884	供給密度ランク 16	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				47PJ	
区域面積				2,441km ²	

2022年度 15PJ 対前年度比 106.8%



2021年度 14PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	伊万里市	62.6%	1	三養基郡上峰町	16.0	☆1	杵島郡白石町	492.7%
2	藤津郡太良町	59.4%	2	杵島郡大町町	10.5	☆2	神崎市	209.3%
3	多久市	48.6%	3	鳥栖市	8.8	☆3	杵島郡江北町	202.8%
4	神崎市	48.4%	4	佐賀市	8.0	☆4	小城市	160.6%
5	東松浦郡玄海町	47.6%	5	伊万里市	7.4	☆5	藤津郡太良町	157.2%
6	唐津市	45.1%	6	三養基郡みやき町	7.2	☆6	東松浦郡玄海町	146.9%
7	三養基郡上峰町	44.7%	7	三養基郡基山町	6.3	☆7	三養基郡みやき町	142.5%
8	嬉野市	42.8%	8	神崎市	6.2	☆8	鹿島市	112.9%
9	武雄市	36.2%	9	唐津市	5.7	☆9	三養基郡上峰町	105.9%
10	杵島郡大町町	35.9%	10	嬉野市	5.1	10	杵島郡大町町	98.3%

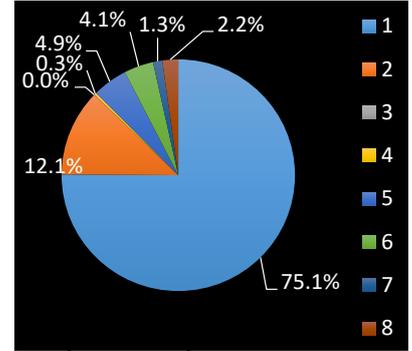
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2023年度 16PJ 対前年度比 96.6%



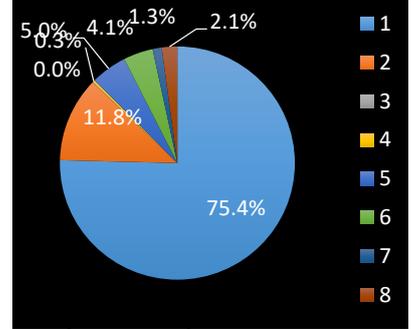
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

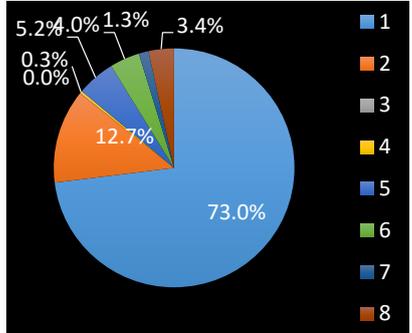
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	30	27	24	75.1%
○ 2 風力発電	2PJ	14	15	6	12.1%
3 地熱発電	0PJ	12	11	10	0.0%
4 小水力発電	0PJ	44	43	45	0.3%
5 バイオマス発電	1PJ	41	40	38	4.9%
6 太陽熱利用	1PJ	24	12	13	4.1%
7 地熱利用	0PJ	26	23	22	1.3%
8 バイオマス熱利用	0PJ	41	39	35	2.2%
合計(供給量)	16PJ	34			
再生可能エネルギー自給率			20.6%	再生可能エネルギー自給率ランク 31	
食料自給率			37.4%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			3.932	供給密度ランク 28	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				79PJ	
区域面積				4,131km ²	

2022年度 17PJ 対前年度比 104.0%



2021年度 16PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	55.5%	1	西彼杵郡時津町	17.4	☆1	平戸市	191.7%
2	東彼杵郡東彼杵町	53.2%	2	大村市	12.2	☆2	南松浦郡新上五島町	191.0%
3	西海市	48.9%	3	北松浦郡佐々町	7.5	☆3	雲仙市	126.3%
4	五島市	42.9%	4	諫早市	7.1	4	北松浦郡小値賀町	85.0%
5	南島原市	41.4%	5	島原市	6.3	5	南島原市	82.8%
6	北松浦郡佐々町	37.0%	6	長崎市	6.0	6	東彼杵郡東彼杵町	82.5%
7	雲仙市	32.3%	7	西彼杵郡長与町	5.6	7	壱岐市	82.3%
8	大村市	30.1%	8	佐世保市	5.6	8	松浦市	78.3%
9	松浦市	28.0%	9	南島原市	5.4	9	五島市	68.8%
10	諫早市	27.0%	10	平戸市	4.8	10	西海市	66.1%

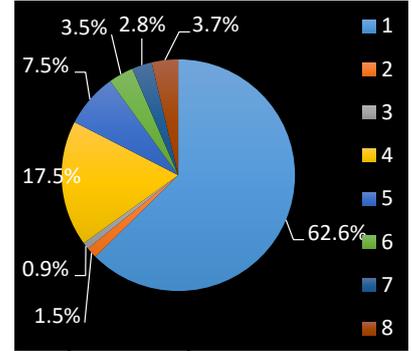
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

2023年度 41PJ 対前年度比 103.2%



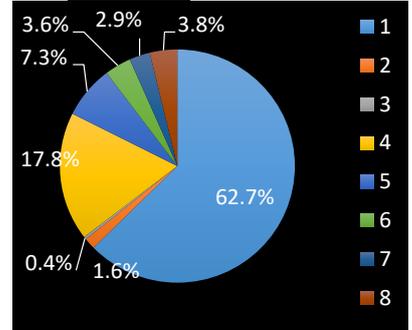
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

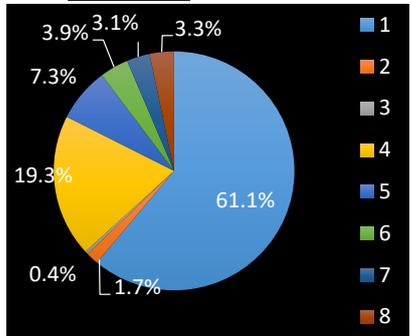
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	16	10	18	62.6%
2 風力発電	1PJ	25	23	28	1.5%
3 地熱発電	0PJ	8	7	7	0.9%
○ 4 小水力発電	7PJ	4	4	5	17.5%
5 バイオマス発電	3PJ	17	12	16	7.5%
6 太陽熱利用	1PJ	7	3	10	3.5%
7 地熱利用	1PJ	7	6	6	2.8%
8 バイオマス熱利用	2PJ	17	12	18	3.7%
合計(供給量)	41PJ	13			
再生可能エネルギー自給率			43.2%	再生可能エネルギー自給率ランク 10	
食料自給率			55.2%	食料自給率ランク 17	
供給密度(TJ/km ²)			5.744	供給密度ランク 17	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				95PJ	
区域面積				7,135km ²	

2022年度 40PJ 対前年度比 108.5%



2021年度 37PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	1371.8%	1	荒尾市	32.6	☆1	阿蘇郡産山村	269.9%
☆2	球磨郡水上村	985.1%	2	菊池郡大津町	24.0	☆2	上益城郡山都町	215.7%
☆3	阿蘇郡小国町	357.3%	3	合志市	19.3	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	190.3%
☆4	上益城郡山都町	340.3%	4	玉名郡長洲町	17.5	☆4	阿蘇市	185.4%
☆5	球磨郡相良村	252.3%	5	上益城郡益城町	16.8	☆5	球磨郡あさぎり町	169.8%
☆6	阿蘇郡高森町	247.5%	6	玉名郡南関町	12.7	☆6	球磨郡多良木町	165.9%
☆7	玉名郡南関町	239.3%	7	水俣市	11.1	☆7	玉名郡和水町	162.0%
☆8	玉名郡和水町	173.3%	8	熊本市	11.1	☆8	上益城郡嘉島町	161.0%
☆9	球磨郡錦町	141.4%	9	阿蘇郡小国町	10.9	☆9	八代郡氷川町	159.7%
☆10	阿蘇郡西原村	140.9%	10	菊池市	10.5	☆10	球磨郡湯前町	155.7%

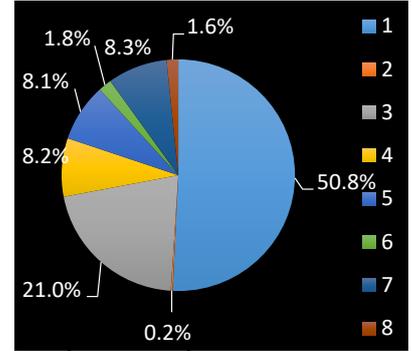
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

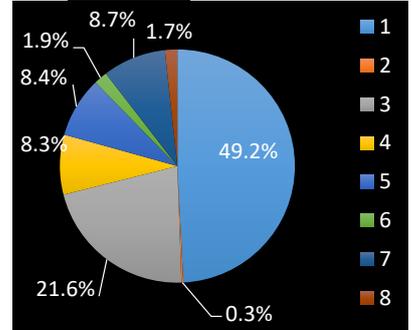
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

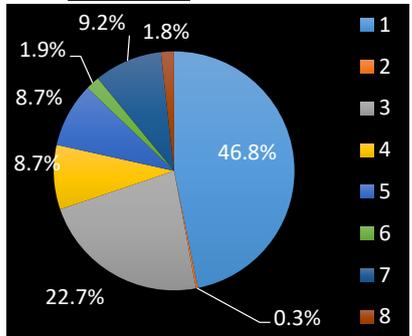
2023年度 **40PJ** 対前年度比 103.2%



2022年度 **39PJ** 対前年度比 105.0%



2021年度 **37PJ**



再生可能エネルギー供給状況

2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20PJ	21	9	20	50.8%
2 風力発電	0PJ	33	33	34	0.2%
◎ 3 地熱発電	8PJ	1	1	1	21.0%
4 小水力発電	3PJ	18	14	14	8.2%
5 バイオマス発電	3PJ	15	5	13	8.1%
6 太陽熱利用	1PJ	22	6	21	1.8%
7 地熱利用	3PJ	1	1	1	8.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	32	24	32	1.6%
合計(供給量)	40PJ	17			
再生可能エネルギー自給率			54.0%	再生可能エネルギー自給率ランク	2
食料自給率			41.2%	食料自給率ランク	22
供給密度(TJ/km ²)			6.340	供給密度ランク	15
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			74PJ		
区域面積			6,341km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1151.2%	1	玖珠郡九重町	35.1	☆1	竹田市	222.5%
☆2	速見郡日出町	135.4%	2	速見郡日出町	27.9	☆2	宇佐市	153.7%
☆3	豊後大野市	133.6%	3	別府市	26.9	☆3	玖珠郡九重町	153.1%
☆4	由布市	101.4%	4	大分市	13.3	☆4	豊後大野市	144.8%
☆5	玖珠郡玖珠町	101.0%	5	由布市	9.0	☆5	国東市	123.6%
6	杵築市	92.1%	6	杵築市	5.5	☆6	豊後高田市	103.1%
7	宇佐市	63.7%	7	宇佐市	4.8	☆7	玖珠郡玖珠町	100.4%
8	豊後高田市	60.9%	8	豊後大野市	4.7	8	杵築市	91.4%
9	日田市	59.6%	9	豊後高田市	4.2	9	由布市	73.5%
10	国東市	55.9%	10	日田市	4.1	10	日田市	55.4%

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

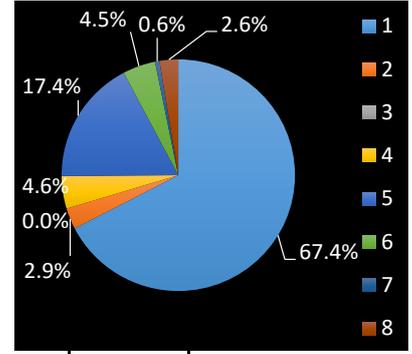
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2023年度 33PJ 対前年度比 106.1%



再生可能エネルギー供給状況

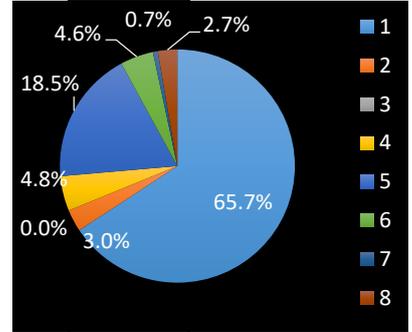
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

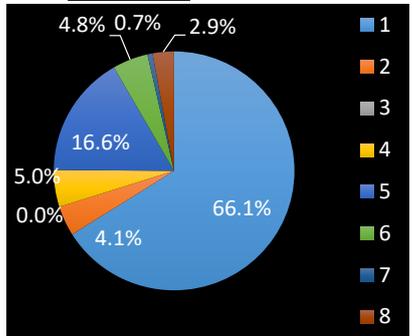
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	22PJ	20	6	26	67.4%
2 風力発電	1PJ	21	18	24	2.9%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	29	25	34	4.6%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	7	1	10	17.4%
6 太陽熱利用	1PJ	6	1	11	4.5%
7 地熱利用	0PJ	27	21	30	0.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	27	20	30	2.6%
合計(供給量)	33PJ	24			
再生可能エネルギー自給率			49.8%	再生可能エネルギー自給率ランク 6	
食料自給率			50.3%	食料自給率ランク 18	
供給密度(TJ/km ²)			4.254	供給密度ランク 23	
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				66PJ	
区域面積				7,735km ²	

2022年度 31PJ 対前年度比 103.1%



2021年度 30PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	613.1%	1	児湯郡川南町	18.3	☆1	東臼杵郡美郷町	190.3%
☆2	児湯郡都農町	173.6%	2	児湯郡高鍋町	12.8	☆2	えびの市	185.9%
☆3	串間市	165.1%	3	宮崎市	11.4	☆3	児湯郡川南町	148.9%
☆4	東諸県郡国富町	152.6%	4	東諸県郡国富町	11.2	☆4	児湯郡木城町	119.2%
☆5	児湯郡川南町	146.8%	5	日向市	10.1	☆5	串間市	118.0%
☆6	西臼杵郡日之影町	106.2%	6	児湯郡都農町	9.1	☆6	西都市	113.3%
☆7	えびの市	101.2%	7	児湯郡新富町	8.6	☆7	西臼杵郡五ヶ瀬町	110.0%
8	西臼杵郡五ヶ瀬町	95.3%	8	都城市	7.1	8	西諸県郡高原町	95.1%
9	東臼杵郡門川町	95.3%	9	東臼杵郡門川町	6.3	9	児湯郡新富町	93.7%
10	日向市	89.1%	10	串間市	5.8	10	児湯郡都農町	90.5%

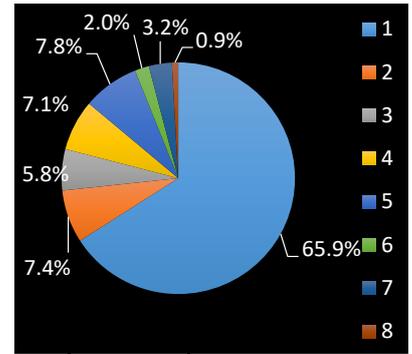
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2023年度 49PJ 対前年度比 102.7%



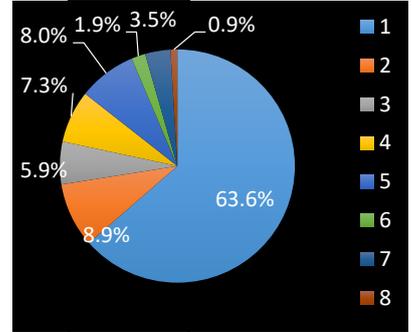
再生可能エネルギー供給状況 2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

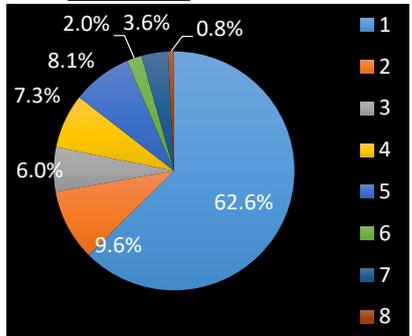
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	11	7	19	65.9%
○ 2 風力発電	4PJ	6	9	9	7.4%
3 地熱発電	3PJ	4	4	3	5.8%
4 小水力発電	3PJ	14	18	22	7.1%
5 バイオマス発電	4PJ	11	9	18	7.8%
6 太陽熱利用	1PJ	13	9	26	2.0%
7 地熱利用	2PJ	4	4	5	3.2%
8.バイオマス熱利用	0PJ	38	42	41	0.9%
合計(供給量)	49PJ	11			
再生可能エネルギー自給率			49.4%	再生可能エネルギー自給率ランク	7
食料自給率			73.0%	食料自給率ランク	9
供給密度(TJ/km ²)			5.339	供給密度ランク	20
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				99PJ	
区域面積				9,187km ²	

2022年度 48PJ 対前年度比 102.2%



2021年度 47PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	肝属郡南大隅町	219.7%	1	曾於郡大崎町	17.8	☆1	熊毛郡中種子町	824.0%
☆2	始良郡湧水町	213.4%	2	指宿市	17.3	☆2	大島郡喜界町	670.9%
☆3	曾於郡大崎町	169.4%	3	霧島市	13.2	☆3	大島郡天城町	648.8%
☆4	出水郡長島町	141.0%	4	枕崎市	11.5	☆4	大島郡伊仙町	551.6%
☆5	肝属郡肝付町	136.2%	5	鹿児島市	9.8	☆5	大島郡知名町	500.8%
☆6	薩摩郡さつま町	130.0%	6	始良郡湧水町	9.8	☆6	大島郡和泊町	463.8%
☆7	南九州市	129.8%	7	出水郡長島町	8.9	☆7	出水郡長島町	370.9%
☆8	霧島市	107.9%	8	南九州市	8.0	☆8	熊毛郡南種子町	334.1%
9	南さつま市	98.4%	9	鹿屋市	7.1	☆9	熊毛郡南種子町	334.1%
10	指宿市	92.0%	10	日置市	6.6	☆10	曾於郡大崎町	316.6%

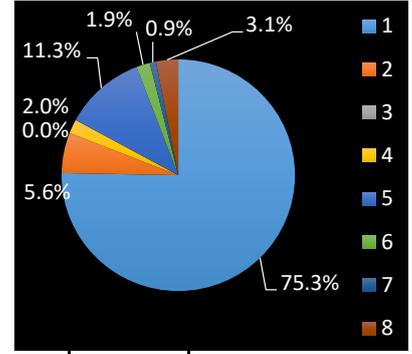
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

2023年度 7PJ 対前年度比 112.7%



再生可能エネルギー供給状況

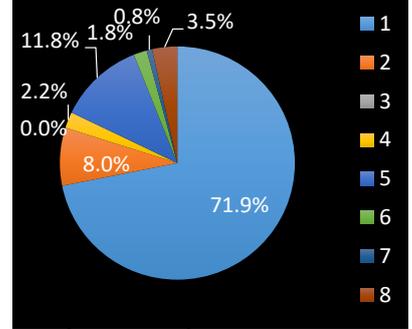
2024年3月末の設備状況をもとに2023年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

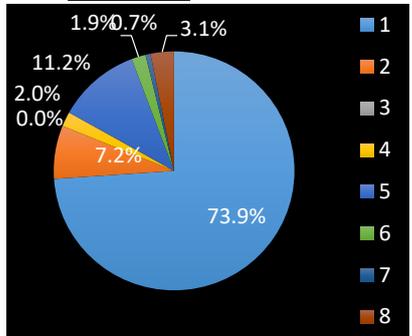
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	42	39	33	75.3%
2 風力発電	0PJ	30	24	23	5.6%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	43	41	42	2.0%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	42	43	25	11.3%
6 太陽熱利用	0PJ	42	40	35	1.9%
7 地熱利用	0PJ	37	32	31	0.9%
8.バイオマス熱利用	0PJ	44	43	34	3.1%
合計(供給量)	7PJ	47			
再生可能エネルギー自給率			8.5%	再生可能エネルギー自給率ランク	43
食料自給率			27.6%	食料自給率ランク	32
供給密度(TJ/km ²)			2.892	供給密度ランク	39
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				77PJ	
区域面積				2,281km ²	

2022年度 6PJ 対前年度比 89.4%



2021年度 7PJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	144.7%	1	島尻郡南風原町	54.3	☆1	島尻郡南大東村	3038.4%
2	国頭郡大宜味村	85.2%	2	沖縄市	13.0	☆2	島尻郡北大東村	1890.6%
3	国頭郡今帰仁村	48.9%	3	宜野湾市	12.1	☆3	宮古郡多良間村	1041.2%
4	国頭郡伊江村	46.1%	4	うるま市	9.2	☆4	島尻郡伊是名村	887.5%
5	国頭郡宜野座村	35.9%	5	糸満市	9.2	☆5	島尻郡久米島町	354.3%
6	国頭郡本部町	30.5%	6	浦添市	9.0	☆6	八重山郡竹富町	339.8%
7	宮古郡多良間村	28.3%	7	豊見城市	8.4	☆7	宮古島市	296.9%
8	島尻郡南風原町	26.7%	8	島尻郡与那原町	7.5	☆8	島尻郡伊平屋村	250.3%
9	八重山郡与那国町	25.1%	9	那覇市	7.4	☆9	八重山郡与那国町	131.1%
10	国頭郡国頭村	23.2%	10	中頭郡北谷町	6.9	☆10	島尻郡粟国村	121.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。